

平成 3 0 年 度 事 業 報 告

自 平成 3 0 年 4 月 1 日
至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

目 次

頁

会務報告

1 会員数	1
2 各種会議開催状況	1
3 各種委員等就任状況	3
4 会員の表彰	8
5 会員の物故	9
6 厚生労働省、日薬等の会議参加状況	10
会員の動向	11

事業報告

I 公益目的事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	12
2 児童・生徒等に関する事業	19
3 医薬品適正使用に関する事業	22
4 医療安全に関する事業	30
5 公衆衛生に関する事業	32
6 地域医療に関する事業	35
7 災害時医療救護活動に関する事業	44

II 法人組織運営に関すること

1 総会、理事会等開催など	45
2 組織強化と財務の健全化	47
3 会員管理	49

III 共益事業

1 薬剤師の生涯学習の推進	50
2 リスクマネジメントシステムの充実	57
3 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及	59
4 会誌「薬壺」発行事業	59
5 会員向けホームページ、メールマガジンの充実	60

IV 収益事業

1 会議室等賃貸業	61
2 書籍等販売業	61
3 当保健センターの修繕等	61

神奈川県薬剤師研修協議会事業	61
----------------	----

参考資料

平成30年度会議室利用状況	62
平成30年度災害用備蓄品整備状況	63
平成30年度神奈川県薬剤師会事業計画	64
平成30年度神奈川県薬剤師会事業体系図	65
神奈川県薬剤師会組織図	67
平成30年度神奈川県薬剤師会委員会 委員名簿	68

会 務 報 告

(平成30年4月～平成31年3月)

1. 会員数 (平成31年3月31日現在)

	第1種会員	2,476人	(対前年比 45人減)
会員総数 4,500人	第2種会員	1,658人	(対前年比 76人減)
(対前年比 139人減)	第3種会員	64人	(対前年比 3人増)
	賛助会員	291人	(対前年比 22人減)
	名誉・有功会員	11人	(対前年比 1人増)

<11頁参照>

2. 各種会議開催状況

(1) 総 会 2回

①平成30年度通常総会

日 時：平成30年6月17日（日）13:00～16:32
会 場：神奈川県総合薬事保健センター 1階 多目的ホール
出 席 者：出席者58名、委任状3名、書面表決10名、合計 71名
報告事項：報告第1号 平成29年度事業報告について
報告第2号 日本薬剤師会第90回臨時総会について
報告第3号 公益法人運営特別会費検討委員会からの中間報告について
審議事項：議案第1号 平成29年度収支決算の承認について
賛成多数の挙手により原案通り議決された。

②平成30年度臨時総会

日 時：平成31年3月3日（日）13:00～16:27
会 場：神奈川県総合薬事保健センター 1階 多目的ホール
出 席 者：出席者61名、委任状4名、書面表決10名、合計 75名
審議事項：議案第1号 平成31年度事業計画について
議案第2号 平成31年度収支予算について <本部> <会館関連>
議案第3号 神奈川県薬剤師会 会員規程の一部改正について
議案第4号 神奈川県薬剤師会 会費規程の一部改正について
議案第5号 平成31年度借入金最高限度額について
いずれも賛成多数の挙手により原案通り議決された。
議案第6号 神奈川県薬剤師会会長候補者の選任について
立候補者は1名で選ぶべき員数を超えなかったため、会長候補者選挙規則第10条により投票は行わず当選としてよいか諮られ、賛成挙手が過半数以上であったため、鵜飼典男候補が会長候補者として議決された。

(2) 理事会 6回 (5/17, 7/19, 9/27, 11/8, 12/20, 2/7)

(3) 常務理事会 24回 (4/5, 4/19, 5/10, 5/24, 6/7, 6/14, 7/5, 7/19, 8/2, 8/23, 9/6, 9/20, 10/4, 10/25, 11/8, 11/22, 12/6, 12/20, 1/10, 1/24, 2/7, 2/21, 3/1, 3/20)

(4) 監査会 2回 (本監査 5/11, 中間監査会11/16)

(5) 地域・職域薬剤師会 会長協議会 4回

開催日	講演内容等
第1回 (4/26)	薬局における臨床研究と倫理審査 講師 上村 直樹 氏 (東京理科大学薬学部教授)
第2回 (7/26)	今後の薬剤師・薬局に期待すること 講師 安川 孝志 氏 (厚生労働省医薬・生活衛生局総務課薬局・販売制度企画室長)
第3回 (11/22)	一般社団法人愛知県薬剤師会の最近の取組み 講師 岩月 進 氏 (一般社団法人愛知県薬剤師会会長)
第4回 (2/14)	①健保組合の現況と薬局・薬剤師に期待すること 講師 木村 文裕 氏 (健康保険組合連合会神奈川連合会会長) ②消費税軽減税率制度に関する説明 講師 松浦 孝太 氏 (東京国税局課税第二部消費税課軽減税率係)

(6) 委員会

- ①倫理委員会 1回 (2/26)
 - ・研修小委員会 2回 (4/25, 5/2)
- ②総務委員会 6回 (5/9, 8/29, 10/17, 10/31, 12/5, 1/21)
- ③広報出版委員会 6回 (4/4, 6/6, 8/1, 10/3, 12/5, 2/6)
- ④生涯学習委員会 4回 (4/19, 7/25, 10/25, 2/21)
 - ・研修企画・運営小委員会 6回 (6/21, 8/20, 9/19, 10/25, 12/27, 2/21)
 - ・認定薬剤師認定小委員会 8回 (4/19, 5/24, 7/25, 10/25, 11/22, 12/20, 1/24, 2/21)
 - ・外部評価小委員会 1回 (3/15)
- ⑤医療・介護保険委員会 4回 (7/5, 9/6, 11/15, 3/14)
 - ・在宅小委員会 2回 (4/19, 10/4)
 - ・調剤業務適正小委員会 1回 (4/19)
- ⑥公衆衛生・学薬委員会 5回 (5/11, 8/30, 10/4, 12/6, 3/14)
 - ・小委員会 2回 (7/1, 3/23)
- ⑦地域保健委員会 5回 (4/5, 6/19, 10/12, 12/18, 2/19)
- ⑧リスクマネジメント委員会 4回 (6/14, 7/12, 9/20, 2/21)
 - ・安全管理対策小委員会 2回 (6/14, 1/31)
 - ・調剤事故対策小委員会 2回 (6/14, 1/31)
 - ・リスクマネジメント小委員長会 2回 (5/10, 1/29)
- ⑨学術大会実行委員会 5回 (4/18, 6/11, 9/19, 12/4, 2/26)
- ⑩実務実習委員会 3回 (5/10, 8/2, 12/12)
- ⑪代議員選挙管理委員会 2回 (11/29, 2/18)
- ⑫総会議事運営委員会 2回 (4/19, 1/24)
- ⑬医薬品適正使用検討委員会 1回 (8/27)
- ⑭災害対策検討委員会 2回 (7/5, 9/26)
- ⑮くすりと健康すこやかフェア実行委員会 2回 (6/13, 9/18)
- ⑯くすりと健康相談薬局運営協議会 4回 (8/2, 10/4, 12/6, 2/6)
- ⑰公益法人運営特別会費検討委員会 2回 (4/13, 8/23)
- ⑱創立130周年記念事業検討WG打合会議等 8回 (5/31, 6/29, 7/31, 8/29, 9/13, 11/1, 1/10, 3/11)

(7) その他会議

- ①正副会長会14回
(4/5, 5/10, 6/7, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/8, 11/22, 12/20, 1/10, 2/21, 3/1, 3/20)

②春秋会

日 時：4/12（木）15:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 3階会議室

出席者：14名（名誉会員3名、有功会員2名、執行役員9名）

③日薬・県薬各委員会等との意見交換会

日 時：3/28（木）18:00～21:10

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：延べ53名

（外部委員8名、日薬委員15名、県薬委員・役員28名、顧問弁護士等2名）

④神奈川県総合薬事保健センター入居団体会議

日 時：10/30（火）15:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 3階会議室

出席者：10団体

⑤会長賞等選考審査会

日 時：11/22（木）16:45～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 2階役員会議室

出席者：10名（執行役員10名）

⑥薬業団体新年賀詞交換会

日 時：1/11（金）15:00～16:30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：123名（うち来賓黒岩知事ほか46名）

⑦県健康医療局との連絡会

日 時：2/8（金）9:30～10:30

会 場：産業貿易センター B102会議室

出席者：23名（県健康医療局13名、県薬執行役員他10名）

⑧県薬務課との連絡会議

日 時：2/8（金）10:30～11:30

会 場：産業貿易センター B102会議室

出席者：19名（県薬務課9名、県薬執行役員他10名）

⑨委員会奨励賞審査会

日 時：2/21（木）16:30～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 2階役員会議室

出席者：11名（県薬執行役員10名）

3. 各種委員等就任状況

《公的委員》

（H31.3.31現在）

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川部会	鵜飼会長	臨時委員	局長	厚生労働省 関東信越厚生局
2	県医療審議会	鵜飼会長	委員	知事	県医療課
3	県薬事審議会	鵜飼会長	副会長	知事	県薬務課

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
4	県薬事審議会 薬物評価検討部会	鵜飼会長	部会長	知事	県薬務課
5	県自然環境保全審議会 温泉部会	夏目理事	委員	知事	県生活衛生課
6	県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤常務	委員	知事	県国際課
7	かながわ地球環境保全推進会議	河野センター長	監事	知事	県環境計画課
8	かながわ地球環境保全推進会議 県民部会	向井理事	部会員	知事	県環境計画課
9	県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	知事	県医療課
10	県保健医療計画推進会議 糖尿病検討部会	唐澤常務	委員	知事	県医療課
11	県医療安全推進協議会	橋本副会長	委員	知事	県医療課
12	県医療安全対策事業実行委員会	橋本副会長	委員	知事	県医療課
13	県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	岩出理事	委員	知事	県医療課
14	県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	知事	県健康危機管理課
15	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会 医療救護体制部会	後藤副会長	構成員	知事	県健康危機管理課
16	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会 ロジスティック部会	寺師理事	構成員	知事	県健康危機管理課
17	県エイズ対策推進協議会	金子理事	運営委員	知事	県健康危機管理課
18	県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	知事	県医療保険課
19	県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	知事	県医療保険課
20	かながわ健康プラン21推進会議及び がん克服県民会議	小川副会長	委員	知事	県健康増進課
21	医食農同源研究会 (漢方理解促進等検討部会委員も兼務)	坂本理事	委員	知事	県健康増進課
22	県アレルギー疾患対策推進協議会	金丸常務	委員	知事	県健康増進課
23	県慢性腎臓病〈CKD〉対策連絡協議会	河野センター長	副会長	知事	県保健予防課
24	県献血推進協議会	金子理事	委員	知事	県薬務課
25	県薬物乱用対策推進本部 本部会	鵜飼会長	本部員	知事	県薬務課
26	県薬物乱用対策推進本部 青少年・啓発部会	高橋理事	部会員	知事	県薬務課

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
27	県後発医薬品使用促進協議会	後藤副会長	委員	知事	県薬務課
28	県患者のための薬局ビジョン推進事業検討会	唐澤常務	委員	知事	県薬務課
29	県認知症対策推進協議会	佐藤理事	委員	知事	県高齢福祉課
30	県在宅医療推進協議会及び 県地域包括ケア会議	佐藤理事	委員	知事	県高齢福祉課
31	かながわ高齢者保健福祉計画 評価・推進等委員会	長津常務	委員	知事	県高齢福祉課
32	県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策 推進協議会	鵜飼会長	委員	会長	県保健体育課
33	県学校給食特別優良学校現地審査会	金丸常務	委員	知事	県保健体育課
34	県学校給食表彰審査会	金丸常務	委員	知事	県保健体育課
35	県学校保健及び学校安全表彰 (文部科学大臣表彰)に係る選考委員会	鵜飼会長	委員	知事	県保健体育課
36	県健康推進学校表彰審査会	嶋理事	委員	知事	県保健体育課
37	ラグビーワールドカップ2019及び 東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会神奈川推進会議	鵜飼会長	構成員	知事	県オリンピック・ パラリンピック課
38	「マイ ME-BYO カルテ」の災害活用に係る 勉強会	後藤副会長	委員	知事	県ヘルスケア・ニューフ ロンティア推進本部室
39	県国民健康保険診療報酬審査委員会	今井理事 佐藤理事 阿部理事 泉 紀久恵 福嶋 仁 飯田 純一 依田 啓司	審査委員	理事長	国保連合会
40	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部 診療報酬請求書審査委員会	長津常務 常盤 孝司 花島 邦彦	審査委員	支部長	診療報酬 支払基金
41	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部幹事会	鵜飼会長	参与	支部長	診療報酬 支払基金

《民間団体役員・委員等》

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
42	(公社)日本薬剤師会	鵜飼会長	理事	—	(公社) 日本薬剤師会
43	(公社)日本薬剤師会 議事運営委員会	小川副会長	委員	会長	日本薬剤師会
44	(公社)日本薬剤師会 代議員選挙管理委員会	伊藤常務	委員	会長	日本薬剤師会

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
45	(公社)日本薬剤師会 組織・会員委員会	山形理事	委員	会長	日本薬剤師会
46	(公社)日本薬剤師会 医療保険委員会	小川副会長	委員	会長	日本薬剤師会
47	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討委員会	笠原 英城	委員	会長	日本薬剤師会
48	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	福島 紀子	委員	会長	日本薬剤師会
49	(公社)日本薬剤師会 地域医療・保健委員会	長津常務	委員	会長	日本薬剤師会
50	(公社)日本薬剤師会 編集委員会	尾鳥 勝也	委員	会長	日本薬剤師会
51	(公社)日本薬剤師会 医薬品情報評価検討会	菅野理事	委員	会長	日本薬剤師会
52	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方委員会	八木多佳子	委員	会長	日本薬剤師会
53	(公社)日本薬剤師会 生涯学習委員会	厚田幸一郎	委員	会長	日本薬剤師会
54	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	片山 周也	委員	会長	日本薬剤師会
55	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究倫理審査委員会	今井 澄江 竹内常務	委員	会長	日本薬剤師会
56	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内常務	委員	会長	日本薬剤師会
57	(公社)日本薬剤師会 健康サポート薬局研修委員会	長津常務	委員	会長	日本薬剤師会
58	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	伊藤常務	幹事	会長	日本薬剤師会
59	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	石川 哲也 香川 貴則	幹事	会長	日本薬剤師会
60	日本薬剤師国民年金基金	平塚久美子	代議員	—	日本薬剤師 国民年金基金
61	県立こども医療センター地域医療支援事業 運営委員会	寺師理事	委員	総長	県立こども医 療センター
62	県がん診療連携協議会 地域連携クリティカルパス部会	唐澤常務	委員	総長	県立がん センター
63	県立保健福祉大学を支援する会	井上専務	理事	会長	県立保健福祉 大学
64	県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	金丸常務	委員	会長	横浜市大 付属病院
65	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	鵜飼会長	委員	会長	県青少年課
66	県公衆衛生協会	鵜飼会長	理事	会長	県健康増進課
67	スモークフリー推進かながわ基金	金子理事	運営委員	会長	県がん対策課

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
68	薬物クリーンかながわ推進会議	鵜飼会長	会長	会長	県薬務課
69	薬物クリーンかながわ推進会議 運営委員会	小川副会長	委員	会長	県薬務課
70	薬物クリーンかながわ推進会議 広報委員会	金子理事	委員	会長	県薬務課
71	県立学校保健会	牛腸理事	理事	会長	県立学校保健会
72	保健に関する実践記録・調査研究作品表彰審査会	金子理事	委員	会長	県立学校保健会
73	県学校保健連合会	鵜飼会長 小川副会長 金丸常務 金子理事	副会長 理事 評議員 評議員	—	県学校保健連合会
74	県学校保健連合会 学校薬剤師部会	鵜飼会長	部会長	会長	県学校保健連合会
75	県学校保健連合会 健康手帳改訂委員会	牛腸理事	委員	会長	県学校保健連合会
76	県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	坂本理事	委員	会長	県社会福祉協議会
77	禁煙、受動喫煙防止を推進する神奈川会議	今井理事	副会長	会長	県予防医学協会
78	県医師会災害救助対策委員会	寺師理事	委員	会長	県医師会
79	県糖尿病対策推進会議 幹事会	唐澤常務	幹事	会長	県医師会
80	在宅医療トレーニングセンター運営協議会	井上専務	委員	会長	県医師会
81	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	小川 亮子 寺師理事 嶋理事 小宮 賢一	副会長 幹事 幹事 監事	会長	県医師会
82	県在宅歯科医療連携室整備事業推進協議会	山形理事	委員	会長	県歯科医師会
83	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤常務	委員	会長	県歯科医師会
84	県保険者協議会	小川副会長	委員	理事長	国保連合会
85	県保険者協議会 事業検討委員会	長津常務	委員	理事長	国保連合会
86	(公財)かながわ健康財団 評議員会	鵜飼会長	評議員	理事長	かながわ健康財団
87	(公財)かながわ健康財団 がん対策推進会議	伊藤常務	委員	会長	かながわ健康財団
88	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	高橋事務局長	委員	会長	かながわ健康財団

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
89	がん克服シンポジウム実行委員会	寺師理事	委員	理事長	かながわ健康財団
90	(一財)北里環境科学センター 評議員会	竹内常務	評議員	理事長	北里環境科学センター
91	(一社)薬学教育評価機構 評価委員会	鵜飼会長 花島 邦彦	評価 実施員	理事長	薬学教育 評価機構
92	(一社)薬学教育協議会 関東地区調整機構薬局小委員会	久保田理事	委員	委員長	薬学教育協議会 関東地区調整機構
93	(公社)薬剤師認定制度認証機構	小川副会長	社員	—	薬剤師認定制 度認証機構

4. 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

①神奈川県薬剤師会

ア 会長賞（個人）〔1/20〕

橋口 章（伊勢原市）
松本 好正（横浜市港北区）
加藤 孝（小田原市）

イ 会長賞（団体）〔1/20〕

該当なし

ウ 有功賞〔1/20〕

橘 美代子（逗子市）	鈴木佳代子（相模原市緑区）
加藤 昭（川崎市川崎区）	下枝 末男（綾瀬市）
廣瀬 秀治（横浜市中区）	伊藤 勝美（平塚市）
山本紀和子（藤沢市）	雨宮 一恵（横浜市緑区）
鈴木 英子（横浜市西区）	森 節子（横浜市磯子区）
間瀬 実（川崎市川崎区）	星野 英雄（横浜市神奈川区）
谷 孝之（横浜市磯子区）	

エ 委員会奨励賞〔3/7〕

古平 圭吾（二俣川薬局）
荒川有紀子（株式会社わかば わかば薬局相模原緑店）

②日本薬剤師会

ア 学校薬剤師賞〔10/25〕

紫藤 成雄（川崎市麻生区）

イ 有功賞〔伝達表彰1/20〕

小町美智子（横浜市南区）	古屋 勝美（小田原市）
昆野 信綱（横浜市泉区）	橋本千鶴子（平塚市）
吉橋 正浩（川崎市多摩区）	柳 房子（藤沢市）
建部千恵子（川崎市中原区）	福田 夏江（横浜市旭区）
稲垣 敬子（座間市）	岩野 洵（三浦市）
青木 秋子（鎌倉市）	今井 直（茅ヶ崎市）
真弓佐智生（横浜市南区）	平澤 綱一（小田原市）
大草安佐子（横須賀市）	密山 里子（藤沢市）

村上 榮司（横浜市南区）	橘 春美（相模原市南区）
山平 尚子（川崎市高津区）	石田 直子（逗子市）
山本 忠宏（横浜市青葉区）	常盤 敦子（小田原市）

（２）叙勲・大臣表彰

①叙勲

ア 旭日双光章〔秋〕
橋本いく子（藤沢市）

②褒章

ア 藍綬褒章〔秋〕
小宮 賢一（鎌倉市）

③厚生労働大臣表彰〔2/25〕

ア 公衆衛生事業功労
川田 哲（横浜市南区）

④文部科学大臣表彰〔10/25〕

ア 学校保健及び学校安全功労
秋月砂代子（藤沢市）

（３）県知事表彰

①保健衛生表彰〔11/19〕

ア 医療関係功労者	
伊藤 貞彦（藤沢市）	木村久美子（横浜市都筑区）
佐俣 紀行（横浜市都筑区）	紫藤 成雄（川崎市麻生区）
鈴木由希子（茅ヶ崎市）	長津 雅則（鎌倉市）
湯川 清治（小田原市）	

（４）その他各種表彰

①神奈川県学校保健功労者等表彰〔11/13〕

渡辺 肇子（横浜市神奈川区）	田中 充裕（川崎市川崎区）
田村 達美（相模原市南区）	川島 弘久（横須賀市）
吉田 善紀（大和市）	野崎 芳雄（海老名市）

②神奈川県公衆衛生協会長表彰〔11/21〕

伊藤 啓（川崎市宮前区）

③日本公衆衛生協会長表彰〔2/25〕

金丸 茂樹（横浜市南区）

５．会員の物故（報告分）

藤本 照代（南足柄市）	荒川 洋（川崎市中原区）	小川 賢三（三浦市）
高橋裕見子（横浜市泉区）	笹川 博行（横浜市磯子区）	岩田 政則（横浜市戸塚区）
牧野 光芳（藤沢市）	川名 寛（横須賀市）	川島 千弘（横須賀市）
齋藤 達男（中郡）	後藤 道子（藤沢市）	須藤 泰男（足柄下郡）
柳 房子（藤沢市）	遠藤 浩良（千葉県）	村木 茂（鎌倉市）
大野 秀利（相模原市南区）	石原 利（横浜市戸塚区）	星野 律子 （横浜市金沢区・横須賀市・厚木市）

6. 厚生労働省、日薬等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 関東ブロック協議会(第1回)〈茨城〉	平成30年5月20・21日	鵜飼、井上、唐澤
日薬 関東ブロック協議会(第2回)〈千葉〉	平成31年2月17・18日	鵜飼、後藤、小川、長津
日薬 関東・東京ブロック会議〈東京〉	平成31年2月3日	長津、夏目、牛腸
日薬 都道府県会長協議会(第1回)	平成30年5月16日	後藤
日薬 都道府県会長協議会(第2回)	平成30年7月11日	井上
日薬 都道府県会長協議会(第3回)	平成30年9月22日	鵜飼
日薬 都道府県会長協議会(第4回)	平成31年1月16日	小川
日薬 第91回定時総会	平成30年6月23・24日	後藤、小川、橋本、井上、唐澤、長津
日薬 第92回臨時総会	平成31年3月9・10日	後藤、小川、橋本、井上、唐澤、長津
日薬 薬局実務実習担当者全国会議	平成30年6月13日	久保田、木村
日薬 都道府県薬剤師会 アンチ・ドーピング活動担当者研修会	平成30年11月30日	今井
日薬 実務実習受入れに関する 関東地区ブロック会議〈神奈川〉	平成30年12月10日	鵜飼、井上、坂本、久保田
日薬 かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者 協議会	平成31年2月1日	伊藤
日薬 次世代薬剤師指導者研修会	平成31年2月10・11日	伊藤、牛腸
日薬 学校薬剤師部会全国担当者会議	平成31年2月13日	金子、牛腸
日薬 研究倫理に関する全国会議	平成31年3月13日	高橋
日薬 学校薬剤師部会東京・関東ブロック 連絡会議〈千葉〉	平成31年3月17日	金丸、金子
日薬 社会保険指導者研修会	平成31年3月18日	藤本、福嶋
第22回認定薬剤師認証研修機関協議会	平成30年9月5日	竹内、阿部、菅野
日本薬剤師研修センター 薬剤師研修協議会連絡会	平成30年6月7日	阿部
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会 社会保険担当者連絡協議会〈茨城〉	平成31年2月7日	長津、佐藤、福嶋

会員の動向

<業種別会員数>

(H31.3.31現在)

区分	薬局				店舗販売業				その他(行政、病院、無職他)					合 計					
	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H27年度	2,540	1,230	310	4,080	38	17	18	73	3	626	—	15	644	2,581	1,873	—	343	13	4,810
H28年度	2,527	1,232	290	4,049	39	15	17	71	3	541	58	17	619	2,569	1,788	58	324	11	4,750
H29年度	2,481	1,206	267	3,954	38	16	14	68	2	512	61	32	607	2,521	1,734	61	313	10	4,639
H30年度	2,438	1,159	247	3,844	36	17	11	64	2	482	64	33	581	2,476	1,658	64	291	11	4,500

[会員種別]

- I 種 : 薬局・店舗販売業の経営者・管理者である薬剤師
 II 種 : 第1種会員以外の薬剤師
 III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師
 賛 助 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の非薬剤師経営者

<入会者・退会者数>

区分	入 会 者					退 会 者						差 引					
	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H27年度	194	133	—	10	337	226	144	—	31	0	401	▲ 32	▲ 11	—	▲ 21		▲ 64
H28年度	222	132	0	3	357	229	157	3	25	2	416	▲ 7	▲ 25	▲ 3	▲ 22	▲ 2	▲ 59
H29年度	220	96	0	10	326	243	155	3	34	1	436	▲ 23	▲ 59	▲ 3	▲ 24	▲ 1	▲ 110
H30年度	231	113	0	12	356	272	180	7	36	0	495	▲ 41	▲ 67	▲ 7	▲ 24		▲ 139

●県内店舗数と会員店舗数比較

業 種	H30.3月	H31.3月		H29.3月	H30.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率
薬 局	3,836	2,489	64.9%	3,825	2,538	66.4%
店舗販売業	1,427	45	3.2%	1,403	48	3.4%
卸売販売業	583	81	13.9%	576	77	13.4%
薬種商販売業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%	1	0	0.0%
配置販売業	215	0	0.0%	232	0	0.0%
計	6,062	2,615	43.1%	6,038	2,683	44.4%

※県内店舗数は、平成30年度神奈川県薬務課発行『業務行政の概要』による。

●県内薬剤師数と会員数比較

業 種	H28.12月	H31.3月		H30.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	会員薬剤師数	加入率
薬 局	14,610	3,602	24.7%	3,691	25.3%
病院・診療所	3,430	104	3.0%	113	3.3%
大 学	127	20	15.7%	23	18.1%
医薬品販売業	2,380	138	5.8%	138	5.8%
行 政	410	46	11.2%	46	11.2%
その他業務	402	30	7.5%	34	8.5%
無 職	743	269	36.2%	281	37.8%
計	22,102	4,209	19.0%	4,326	19.6%

※県内薬剤師数は、H28.12/31現在の厚労省届出薬剤師数による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

I 公益目的事業

1. 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) かながわ薬剤師学会の開催

薬学の進歩発展及び医療水準の向上等のため、神奈川県病院薬剤師会と共同で、平成31年1月20日パシフィコ横浜において17回目となる薬剤師学会大会を開催し総勢1,245名の参加者のもと盛会に行われた。

特別講演は『薬剤師にとって、医療現場で役立つAIとは』をテーマとし、シンポジウムは本大会から分科会へ移行し、薬業連携・プレアボイド・倫理の研修会を実施した。県民向けの公開講座及びお薬相談・健康測定なども例年通り実施した。

①日 時：平成31年1月20日（日）9:00～16:40

②大会テーマ：いざ変革！～進みゆくAI化の中で～

③後 援：神奈川県、横浜市

④特別講演：『薬剤師にとって、医療現場で役立つAIとは』

講師 木村 隆夫 氏（木村情報技術株式会社 代表取締役）

⑤分科会

ア 分科会Ⅰ「薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー」

講演1 「病院薬剤師と薬局薬剤師の連携に期待すること」

講演2-2「平塚中郡薬剤師会方式による Adverse Event 報告の薬業連携システム」

講演2-2「副作用を含む有害事象報告の薬業連携～病院薬剤師の役割～」

講演3-1「検査値記載の処方箋から考える薬剤師の地域連携の在り方について」

講演3-2「検査値記載の処方箋から考える「保険薬局薬剤師」と「病院薬剤師」の連携の在り方について」

（共催）神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会共催

イ 分科会Ⅱ「プレアボイド研修」

講演1 「AI1 薬剤師のためのプレアボイド、問題点と課題」

講演2 「病院薬剤師によるプレアボイド報告の収集とその成果～当院での実例を交えて」

講演3 「神奈川県薬剤師会の取り組みと現状・今後の課題について」

（主催）神奈川県病院薬剤師会

ウ 分科会Ⅲ「倫理研修」

講演 「臨床研究と倫理審査～申請書作成時のポイントを学ぶ～」

（主催）神奈川県薬剤師会



《ポスター》

- ⑥県民公開講座：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）有人宇宙技術部門 総括医長の三丸敦洋氏をお招きし、『健康長寿のヒントは宇宙にある。～JAXA、ISS活動について～』について貴重な講演をいただいた。また、受講者の7割の方々に講演内容が良かったと評価され、前向きな評価をいただいた。

（参加451名）

- ⑦参加費：会員一事前3,000円、当日4,000円、
一般一事前5,000円、当日6,000円、
薬学生一1,000円

- ⑧ポスター600枚、リーフレット（大会）11,000枚、
リーフレット（県民公開講座）6,000枚を作成した。
また、今大会から県民公開講座のポスター550枚を作成し、
横浜市内の小学校へ配布した。

- ⑨参加者：合計1,245名（前回1,411名）

※カッコ内は前回の参加者数

- ア 神奈川県薬剤師会：676名（747名）
イ 神奈川県病院薬剤師会：565名（647名）
ウ 薬学生：4名（17名）

参加状況一覧



		第17回			第16回		
		会 員	一 般	計	会 員	一 般	計
県 薬	事前	450	89	539	471	91	562
	当日	80	57	137	116	69	185
	小計	530	146	676	587	160	747
県病薬	事前	413	12	425	466	4	470
	当日	134	6	140	143	34	177
	小計	547	18	565	609	38	647
薬学生	事前		1	1		1	1
	当日		3	3		16	16
合 計		1,245			1,411		

- ⑩会員発表優秀賞 口頭発表（3題）、ポスター発表（4題）

口頭発表（3題）

- ア 心不全地域連携プロジェクトの現状 薬局における心不全管理の実際
磯崎 弘恵 氏（フジ薬局 大学病院前店） 他
イ 入院支援業務における情報提供書の利用実態調査
河野 綾香 氏（横浜市立みなと赤十字病院薬剤部） 他
ウ H31年度病院実務実習評価に向けた院内での体制整備と評価表運用の構築
～学習者へのメリットを生かした指導体制の構築～
越智 良明 氏（社会医療法人財団互惠会 大船中央病院 薬剤部） 他

ポスター発表（４題）

ア プロトコルに基づく薬物治療管理導入1年における有用性および安全性評価

上條 貢 氏（藤沢市民病院 薬局） 他

イ 地域包括ケア病棟における服薬管理方法の判断基準の作成と有用性の検討

小俣 文香氏（社会福祉法人 ワゲン福祉会 総合相模更生病院 薬剤部） 他

ウ セルフメディケーション業務の見える化・見せる化 ～なかやく通信発行の試み～

持田 鉄平 氏（横浜市中区薬剤師会） 他

エ 造影剤副作用報告システムの構築

電子カルテシステムを利用した造影剤副作用情報の共有

小林 俊博 氏（川崎市立多摩病院(指定管理者：聖マリア医科大学) 薬剤部） 他

⑪お薬相談・健康測定・献血実施者数

区分	第 17 回	第 16 回
お薬相談	12	15
血管年齢測定	281	342
骨健康測定	187	259
献 血	143（受付 166）	133（受付 170）
計	623 人	749 人

⑫第17回かながわ薬剤師学術大会参加

同大会へ本会代表発表として、リスクマネジメント委員会、医療・介護保険委員会、地域保健委員会、公衆衛生・学薬委員会の４委員会が口頭発表及びポスター発表を行った。

（２）日本薬剤師会学術大会への参加・発表

日本薬剤師会により石川県金沢市で９月に開催された第51回学術大会において、次の４委員会が発表した。

①口頭発表

ア 医療・介護保険委員会

「診療報酬改定時における公益社団法人神奈川県薬剤師会の会員からの質問対応について」

イ リスクマネジメント委員会

「神奈川県薬剤師会における薬局プレアボイドへの取り組み」

ウ 公衆衛生・学薬委員会

「神奈川県立学校における学校環境衛生検査の実施状況報告(平成29年度)」

エ 地域保健委員会

「薬局製剤に関するアンケート調査 ～セルフメディケーション推進のための研修会にて～」

②ポスター発表

ア リスクマネジメント委員会

「子どもによる医薬品誤飲防止対策について」

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成24年度より総額100万円以内で助成金を交付している。対象者は、本会に設置した選考審査会にて審査のうえ決定した。(2件:549,000円)

募集期間:平成30年5月1日(火)～6月30日(土)

広 報:当会ホームページにて周知

採択内容:①外来化学療法における薬薬連携体制の構築と有用性の検証

②調剤業務におけるヒヤリ・ハット事例の分析と解決策の検討

～ヒヤリ・ハット事例の見える化を通じた原因の探索～

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

①倫理委員会では「人を対象とする医学・薬学系研究の倫理審査業務手順書」に基づいて、倫理審査を4件実施した。

②研究倫理に関する研修用DVDの貸し出し

研究者等に必要の研究に関する倫理を研修してもらうため、本会作成DVD「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針と薬剤師の研究について」を、地域薬剤師会または本会委員会を単位として貸し出しをした。

貸し出し件数:4件

(5) 薬学生育成に関する事業

①認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(年2回)

実務実習において薬学生への質の高い教育を実践するため、高い教育指導能力を有する認定実務実習指導薬剤師を養成するべく、(一社)薬学教育協議会で承認されたWSを病院・薬局実務実習関東地区調整機構共催の補助事業として実施した。

ア 第1・2回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

(東京・千葉・埼玉・神奈川共催)

日 時:平成30年4月29日(日) 9:00～20:30

平成30年4月30日(月・祝) 9:00～18:00

会 場:帝京大学 板橋キャンパス

受講者数:108名(薬局63名:病院33名:大学12名)

イ 第4回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(東京・神奈川共催)

日 時:平成30年7月15日(日) 9:00～20:30

平成30年7月16日(月・祝) 9:00～18:00

会 場:昭和薬科大学

受講者数:54名(薬局31名:病院17名:大学6名)

②認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンストワークショップ（年7回）

認定実務実習指導薬剤師の資格を取得後、実務実習の指導にあたった認定実務実習指導薬剤師に、平成31年度から改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習の開始に伴い、新たな考え方への対応やよりよい実習の継続のために、指導方法や問題点の共有、解決によりAWSの充実を図ることを目的として、(一社)薬学教育協議会で承認されたAWSを病院・薬局実務実習関東地区調整機構共催の補助事業として実施した。

ア 第2・3回認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ（神奈川）

日 時：平成30年5月20日（日）9:00～17:30

会 場：昭和薬科大学

受講者数：119名（薬局78名：病院29名：大学12名）

イ 第7・8回認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ（神奈川）

日 時：平成30年6月3日（日）9:00～17:30

会 場：横浜薬科大学

受講者数：110名（薬局70名：病院29名：大学11名）

ウ 第23・24回認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ（神奈川）

日 時：平成30年9月9日（日）9:00～17:30

会 場：横浜薬科大学

受講者数：90名（薬局66名：病院12名：大学12名）

エ 第26回認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ（神奈川）

日 時：平成30年10月21日（日）9:00～17:30

会 場：昭和薬科大学

受講者数：90名（薬局61名：病院21名：大学8名）

③関東地区調整機構が実施する「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」への講師派遣

関東地区調整機構からの依頼に応じ、ワークショップへ講師を派遣した。

ア 第9回認定指導薬剤師養成ワークショップ

日 時：平成31年1月13日（日） 9:00～20:30

平成31年1月14日（月・祝）9:00～18:00

会 場：帝京大学 板橋キャンパス

主 催：関東地区調整機構

タスクフォース派遣者：駒井 実務実習委員会委員

④関東地区調整機構が実施する「認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ」への講師派遣

関東地区調整機構からの依頼に応じ、アドバンストワークショップへ講師を派遣した。

ア 認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ

日 時：平成30年12月16日（日）9:00～18:00

会 場：帝京平成大学 中野キャンパス

主 催：関東地区調整機構

タスクフォース派遣者：片山・駒井 実務実習委員会委員

⑤「薬局実務実習指導の手引き2018年版」を用いた実習の進め方の説明会（年3回）

平成31年度からの改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の開始に伴い、新たな考え方への対応の一環として、「薬局実務実習指導の手引き2018年版」を用いた実習の進め方の説明会を実施した。

日 時：第1回 平成30年9月1日（土）19:00～20:30

第2回 平成30年9月2日（日）10:30～12:00

第3回 平成31年1月27日（日）10:00～11:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講資格：認定実務実習指導薬剤師

受講者数：第1回 79名

第2回 36名

第3回 62名

⑥認定実務実習指導薬剤師養成講習会への協力

神奈川県病院薬剤師会が主催する認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催に協力した。

日 時：平成30年7月1日（日）14:00～18:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者数：88名（薬局42名：病院46名）

⑦認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催（年2回）

認定実務実習指導薬剤師の認定を受けた日から5年以上を経過した者を対象に、認定資格更新のための講習会を実施した。

日 時：第1回 平成30年7月1日（日）12:30～13:30

第2回 平成31年1月27日（日）13:00～14:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者数：第1回 28名（薬局17名：病院11名）

第2回 11名（薬局7名：病院4名）

⑧平成30年度 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習委員会委員と大学との懇談会

平成31年度から開始される改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の実施に向け、薬局、病院及び関東地区調整機構管内23大学の更なる連携強化を図るため、意思の疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として実施した。

日 時：平成30年7月5日（木）18:30～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・神奈川県薬剤師会における改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習への取り組みについて
- ・神奈川県病院薬剤師会における改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習への取り組みについて
- ・先行導入実習実施アンケート調査結果について
- ・意見交換会

出席者：大学15名、県病院薬剤師会 5 名、県薬剤師会19名

⑨地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催

各地域の実務実習担当者に本会事業及び日本薬剤師会や関東地区調整機構からの通知や事業について伝搬し、地域の問題点や課題を共有等するために実施した。

ア 第1回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：平成30年8月2日（木）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・平成29年度第1回病院・薬局関東地区調整機構委員会（総会）の報告
- ・平成29年度薬局実務実習担当者全国会議の報告
- ・認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップ実施について
- ・薬学実務実習に関するガイドラインについて（薬学実務実習に関する連絡協議会）
- ・日本薬剤師会 実務実習指導の手引き（改訂版）について
- ・方略見直し実習（トライアル実習）について
- ・質疑応答

イ 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：平成30年12月12日（水）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・平成30年度薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議について
- ・平成30年度Ⅱ期 先行導入実習 実施アンケート調査結果について
- ・質疑応答

⑩先行導入実習実施アンケート調査

回答数：平成30年度第Ⅰ期受入薬局 79件

- （結果）
- ・先行導入では大学・薬局で格差がある
 - ・学習基盤型教育に前向きな意見が多く見受けられる
 - ・日薬編集の「薬局実務実習の手引き2018年版」は使いこなせていない

2. 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

①神奈川県立学校の環境衛生検査

「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、県立学校担当学校薬剤師による検査の利便性向上のために寄与した。

ア 学校環境衛生検査（県立学校全190校（全日制、定時制、通信制、支援学校等））

イ 県立学校室内空気中化学物質濃度検査（シックハウス検査16校）

ウ 県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校26校）

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

神奈川県からの委託事業として、県下の公立及び私立の小・中・高校生並びに教職員、PTA等を対象に、学校薬剤師が講師となり薬物乱用防止啓発講演会等を実施した。

薬物乱用防止活動実施状況

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		平成 28 年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	14	4,403	13	3,327	11	2,427
中等教育	-	-	-	-	-	-
一貫校	-	-	3	1,771	1	112
中学校	69	12,706	74	13,029	72	11,672
小学校	169	14,859	153	12,736	127	11,177
P T A 等	1	70	2	72	4	275
計	253	32,038	245	30,935	215	25,663

①中高生向け教材「ダメ。ゼッタイ。」リーフレットの増刷

中高生向けリーフレットを19,000部増刷し、薬物乱用防止啓発教室啓発資材として学校薬剤師へ提供した。

(3) 医薬品適正使用教室の推進

学習指導要領の改正に伴い、平成24年度より中学校の保健体育に「くすり教育」が必修化され、高等学校においては平成25年度から、より専門的な「くすり教育」が開始されていることから、授業用の資材を提供した。

①資材購入

学校環境衛生検査の資料として、学校環境衛生管理マニュアル[平成30年度改訂版]、薬物乱用防止の啓発資材として「新薬物標本」を購入し、学校保健衛生の向上を図った。

(4) 学校保健向上事業

①学校薬剤師研修会の開催

ア 学校薬剤師研修会

学校薬剤師業務の基本となる学校環境衛生の維持・管理について、学校への助言や対応能力の向上を図り、児童・生徒の健康維持に貢献するために、学校薬剤師研修会を開催した。

日 時：平成30年5月20日（日）14:00～16:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

(ア)「平成29年度神奈川県立学校における環境衛生検査の実施状況報告および平成30年度学校環境衛生検査について」

講師 濱地 優作 氏（公衆衛生・学薬委員会 委員）

(イ)「学校におけるプールの保健衛生管理について」

講師 鬼頭 英明 氏（法政大学 スポーツ健康学部 教授）

受講者数：56名（会員55名：一般1名）

②学校環境衛生検査技術伝達講習会

学校環境衛生検査の標準化を図り、児童・生徒の健康維持に貢献するため、学校環境衛生検査技術伝達講習会を開催した。

ア 学校環境衛生検査技術伝達講習会（大和）

日 時：平成30年7月29日（日）10:00～13:00

会 場：大和市学校薬剤師検査室

内 容：

(ア) 教室等の環境検査について

講師 金子 弘之 氏（ミツワ薬局）

(イ) 実 習

「学校環境衛生実習」

実習進行 神原 大輔 氏（有限会社 太陽堂薬局）

受講者数：29名（会員26名：一般3名）

イ 学校環境衛生検査技術伝達講習会（小田原）

日 時：平成30年9月2日（日）15:00～18:00

会 場：小田原保健センター

内 容：

(ア) 教室等の環境検査について

講師 金子 弘之 氏（ミツワ薬局）

(イ) 実 習

「学校環境衛生実習」

実習進行 神原 大輔 氏（有限会社 太陽堂薬局）

受講者数：38名（会員35名：一般3名）

③学校薬剤師地域担当研究会の開催

各地域薬剤師会の学校薬剤師担当者に本会事業及び日本薬剤師会からの通知や事業について伝搬し、地域の問題点や課題を共有等するために実施した。

ア 地域薬剤師会学校薬剤師担当研究会

日 時：平成30年5月20日（日）12:30～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・学校環境衛生検査について
- ・薬物乱用防止啓発事業について
- ・平成29年度アンケート調査集計結果について
- ・平成30年度神奈川県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室推進協議会会議報告
- ・日薬等通知について
- ・意見交換

④全国学校保健調査への協力

日本薬剤師会が昭和46年度から実施している全国学校保健調査について、地域薬剤師会の協力のもと、神奈川県内調査の取り纏めを行った。なお、本調査結果は学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として毎年文部科学省へ報告を行っている。

テーマ：平成29年度のプールの水質検査、施設・設備、日常点検

対 象：学校薬剤師

調査票配布数：1,329枚

調査票回収数：1,273枚

3. 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し医薬品の適正使用など健康な社会づくりの普及啓発を図るため、関係団体との共催により、パネル展示や血管年齢測定などの健康度チェック等を実施した。

また、くすりと健康すこやかフェアやイベント等で利活用するため、けが・キズ・やけどのパネルを作成し、展示した。さらに、啓発資材封入のためクリアファイルを作成し、配布した。

また、本会ブースの一画において、神奈川県栄養士会の協力のもと、栄養相談を実施した。

ア くすりと健康すこやかフェア

日 時：平成30年10月18日（木）10:00～16:00

会 場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主催団体：神奈川県薬剤師会

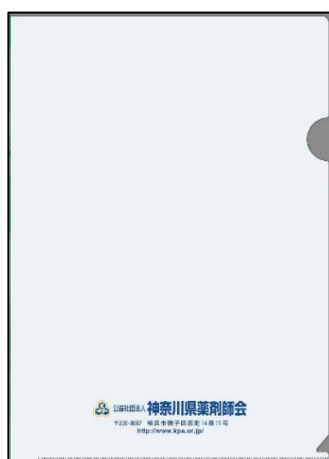
神奈川県病院薬剤師会

神奈川県製薬協会

神奈川県医薬品配置協会

横浜市薬剤師会

実 施：血管年齢測定（県薬剤師会）	1 台 179 人
脳年齢測定（県薬剤師会）	1 台 72 人
肌年齢測定（県薬剤師会）	1 台 73 人
健骨度測定（県薬剤師会）	1 台 184 人
栄養相談（県栄養士会）	26 人
お薬相談（県病薬）	63 人
アンケート回収	676 件



〈クリアファイル表〉



〈裏〉

(1,000枚)

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10/17～10/23)において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等が作成のポスター、チラシ、ハンドブックなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品の適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を行った。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

① 医薬品適正使用検討事業

県三師会、県病院協会及び県病院薬剤師会と年1回開催しており、今年度は調剤報酬改定があったため、医療・介護保険委員会で見直された院外処方箋の正しい書き方等を検討会で確認した。

② 新たな医薬品販売制度に関する自主点検調査

医薬品販売制度への理解を深め、法令遵守を含めた地域住民に対する適切なセルフメディケーションのサポートに資する医薬品販売体制を整えることを目的とし、薬壺9・10月号に医薬品販売制度対応に関する自主点検チェックリストを同封、自主点検調査を実施した。

回収率 1,296/2,646 件(48.9%) 有効回答率 1,244/2,646 件(47.0%)

(4) セルフメディケーションの推進

① OTC 医薬品副作用情報収集

医薬品・医療機器安全性情報報告制度への積極的な関わりを会員へ啓発することを目的とし、厚生労働省作成の報告書を薬壺2019年3・4月号に同封し、報告を促した。

② 県民向け啓発グッズの作成

県民に対する「セルフメディケーション」の普及啓発を目的としてグッズを作成し、かながわ薬剤師学会・くすりと健康相談薬局県下一斉相談日他、地域のイベント等で配布した。

ア シール (10,000 枚)



イ ポストカード

(ア) かながわ薬剤師学会用
(200 枚)



(イ) くすりと健康相談薬局認定薬局用
(4,500 枚)



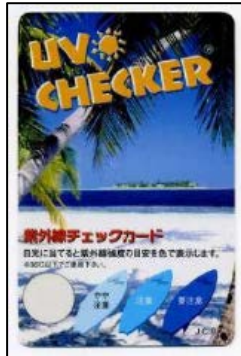
ウ マスク (12,000 枚)



(外装)

エ 紫外線チェックカード (10,500 枚)

〈表〉



〈裏〉



オ 啓発ポスター (会員薬局に配布)

(ア) 10月作成 (2,700 枚)

(イ) 3月作成 (2,700 枚)



カ タウンニュース広告掲載 (2/7~9 掲載 神奈川県全域 12.3cm×3 段)



③漢方の理解促進に関する研修会

薬局薬剤師の地域での健康情報拠点としての充実の一環として漢方薬の理解促進に関する研修会を県民に対して実施した。また薬剤師に対しても漢方の有効な使い方等の知識を向上させる目的で研修会を実施した。

ア 漢方の理解促進に関する研修会 知って得するなるほど！『漢方』【県民向け】

日 時：平成30年11月11日（日） 14:00～16:00

会 場：崎陽軒本店 6階 会議室

内 容：「あなたの暮らしに『漢方』を

～明日からの健康生活に役立つ伝統医療の話～」

講師 桐生 直明 氏（平塚まちゼミ広報サポーター）

受講者数：101名

イ 第2回セルフメディケーション研修会 ～各論編～【薬剤師向け】

日 時：平成31年2月3日（日） 15:00～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「養生、薬膳、漢方～明日から役に立つ話～」

講師 大草 貴生 氏（大草弘真堂薬局）

受講者数：99名（会員82名：一般17名）

④健康測定機器による健康相談の推進

健康測定機器については、4台をリースし、地域薬剤師会及び会員薬局に概ね7日間を目途として貸出しを実施した。また、5月から「くすりと健康相談薬局」会員用の4台を新たにリースし貸出しを開始した。延べ件数は136件であった。

《貸出機器及び貸出件数》

機器名 (○リース／●県薬所有)	一般貸出	くすりと健康 相談薬局貸出	計
○脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器	24	22	46
○血管年齢計	18	17	35
○骨健康測定器	25	19	44
○肺年齢計	7	1	8
●血圧計1台	3		3
●環境放射線モニター2台	-		-
計	77	59	136

⑤薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

薬局・薬剤師が地域に密着した健康情報の拠点であることを、県民に対して啓発し続けることを目的として研修会を開催した。

ア 第1回セルフメディケーション研修会 ～総論編～

日 時：平成30年4月15日（日） 13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

(ア) 消費者の健康意識から見た保健機能食品について

講師 西川 真由 氏 (消費者庁 食品表示企画課 課長補佐)

(イ) 薬局における栄養指導について

講師 堀 由美子 氏 (城西大学薬学部 医療栄養学科 予防栄養学研究室准教授)

受講者数：89名 (会員82名：一般7名)

イ 第2回セルフメディケーション研修会 ～各論編～ (再掲)

日 時：平成31年2月3日 (日) 15:00～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：養生、薬膳、漢方～明日から役に立つ話～

講師 大草 貴生 氏 (大草弘真堂薬局)

受講者数：99名 (会員82名：一般17名)

 ⑥医薬品登録販売者継続研修 (県医薬品登録販売者協会との共催事業)

本年度から「医薬品登録販売者継続研修会」に関し、本会会員の属する薬局等の登録販売者に必要な研修を受けられるよう環境整備を行うため、神奈川県医薬品登録販売者協会と業務委託協定書を取り交わし、本研修会を共同開催することとした。

本研修会は、医薬品医療機器等法に基づく法定義務研修であり、登録販売者を置く薬局開設者に課せられたもので、厚生労働省及び神奈川県の後援にて実施しており、厚生労働省の『登録販売者の資質の向上のための外部研修ガイドライン』に完全準拠したものである。

なお、次の2回計4講座を受講することで、年間に必要な12時間の研修が可能となっている。

ア 第1回(公社)全日本医薬品登録販売者協会 生涯学習研修会

日 時：平成30年9月30日 (日) A講座10:00～13:00、B講座14:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：A講座「胃痛 (胃痛、胸やけ、胃もたれ)・痛みを伴わない胃の症状」

講師 児矢野 元啓 氏 (ポートサイド薬局)

A講座「水虫」

B講座「薬事関係法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策、医薬品の専門家として知っておきたいドーピング」

講師 今井 雄一郎 氏 (全日本医薬品登録販売者協会生涯学習委員)

受講者数：17名

イ 第2回(公社)全日本医薬品登録販売者協会 生涯学習研修会

日 時：平成31年3月10日 (日) A講座、B講座

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：A講座「赤十字救急法」

講師 笹井 靖雄 氏・徳嶋 秀明 氏 (日本赤十字社)

A講座「漢方製剤」

講師 建林 龍欧 氏（本草製薬株式会社）

A講座「倦怠感、疲労、栄養不足による諸症状」

B講座「リスク区分等の変更があった医薬品」

B講座「薬事関係法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策」

講師 今井 雄一郎 氏（全日本医薬品登録販売者協会生涯学習委員）

受講者数：30名

⑦セルフメディケーション啓発研修会の開催（地域との共催）

ア セルフメディケーション啓発推進研修会～各論編～

（共催 湘南東地域薬剤師会協議会）

日 時：平成30年7月22日（日）13:00～17:30

会 場：藤沢商工会館ミナパーク

内 容：「明日からできる薬局製剤・OTC研修会」

（ア）薬局製剤の法的規制 許可申請書類から関連法規

講師 大島 崇弘 氏（株式会社 大島薬局）

（イ）薬局製剤の実際とOTC販売の具体例を学ぼう

（スモールグループ・ディスカッション含む）

講師 田中 大嗣 氏（株式会社 田中薬局）

受講者数：51名（会員50名：一般1名）

（5）くすりと健康相談薬局の推進

本年度は、平成27年度の制度開始後最初の更新時期となり、9月1日付けで更新93件、新規42件、合計135件の薬局を認定し、28年度認定68薬局及び29年度認定10薬局と合わせて県内213薬局となった。

申請期間：平成30年5月10日～5月30日

申請薬局数：143薬局

認定薬局数：135薬局

認定期間：平成30年9月1日～令和3年8月31日

啓発グッズの配送：下記②の啓発グッズを10/9～16にかけて全認定薬局に配送した。

（※ウェットティッシュは旧デザイン、マスコット人形(大)を除く。）

①認定証交付式の開催

日 時：平成30年9月9日（日）12:00～12:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

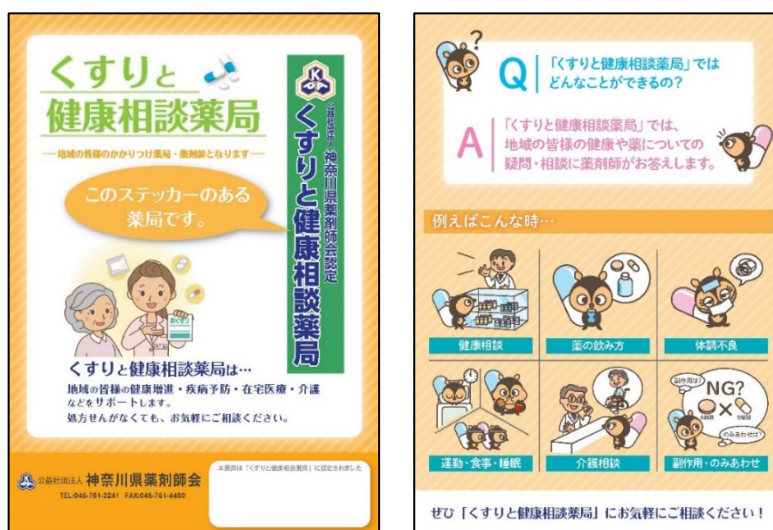
参加者：84薬局

②チラシ等啓発グッズの作成

今年度の認定並びに県下一斉相談日の開催にあたり、次の啓発グッズを作成した。

ア チラシ（認定薬局PR用：A4判） 20,000枚【増刷】

イ リーフレット（制度PR用：A3判二折） 10,000枚【一部改訂】



〈チラシ・リーフレット表〉 〈同 裏〉

〈リーフレット見開き内面 認定薬局一覧（省略）〉

ウ クリアファイル（P. 22に同じ） 5,000枚【新規】

エ のぼり（大・小） 各250本【増備】

オ ウェットティッシュ 16,500個【一部改訂】

カ マスコット人形（大50個・小300個）【増備】



ウェットティッシュ



のぼり（大）・（小）・マスコット人形（大・小）



③県下一斉相談日の開催

かかりつけ薬局・薬剤師としてその機能・職能を発揮するにあたり、地域における医療・介護の一翼を担う存在として認定薬局で日々行っている相談業務を改めて県民にアピールするため「県下一斉相談日」を実施した。

日 時：平成31年2月15日（金） 各認定薬局の開局時間中

会 場：各認定薬局

事前周知：平成31年2月5日（火） 神奈川県庁県政記者クラブにて記者発表
2月7日（木）～9日（土） タウンニュース誌に広告掲載
2月14日（木） 朝日新聞朝刊で告知報道

関係グッズの配布：シール（P. 23に同じ）

ポストカード（P. 23に同じ）

ポスター（P. 24タウンニュース広告に同じ）

ウェットティッシュ（P. 28に同じ）

相談件数：647件（※認定薬局アンケートに記載の件数より算出）

④会報誌「薬壺」にて認定薬局インタビュー記事を掲載するため、取材を行った。

ア 有馬センター薬局（川崎市）2018年7・8月号掲載

イ ひかり薬局（平塚市）2018年11・12月号掲載

ウ 日の出薬局（横浜市）2019年5・6月号掲載予定

エ オレンジ薬局鹿沼台店（相模原市）2019年9・10月号掲載予定

⑤かながわ薬剤師学会でのPR活動

第17回かながわ薬剤師学会において「くすりと健康相談薬局PRブース」を設置し、啓発グッズの配布や薬局クイズ等を通して、薬局関係者には認定取得を、県民には相談薬局の存在をPRする活動を実施した。

（6）薬事情報センターの充実

医薬品・健康保険制度等に関する相談・情報提供として、厚生労働省、日本薬剤師会や製薬メーカー等から先発医薬品や副作用等の情報収集に努め、会員や医師・県民などからの医薬品、化学物質、医療保障制度等の相談に応じ、医薬品の適正使用の推進、薬害の防止などに貢献した。

平成30年度相談件数 1,011件 （平成29年度相談件数 2,046件）

4. 医療安全に関する事業

(1) 神奈川医療安全推進セミナーへの参画

医療事故対策事業として、平成13年に設置された神奈川県医療事故防止対策実行委員会（神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県薬剤師会・神奈川県歯科医師会の計6団体で構成）に平成19年から参画し、これまでに「医療事故防止マニュアル作成の手引き」の作成や普及活動及び講習会の開催を行い、県内の医療安全対策を推進している。

日 時：平成30年10月7日（日）14:00～17:30

会 場：神奈川県総合医療会館

内 容：テーマ「医療事故を防止するために

～その医療事故は何故防ぐことができなかったのか～

セミナー（課題提起）加藤 慎 氏（弁護士）

（基調講演）安東 宏三 氏（弁護士）

医療事故を防止するために～患者側弁護士の立場から～

フォーラム（座 長）吉田 勝明 氏（実行委員会委員長）

（医 師）長谷川 剛 氏（上尾中央総合病院 特任副院長・情報管理部長）

（看 護 師）竹村 華織 氏（海老名総合病院 副院長・看護部長）

参加者数：216名

(2) 子どもの医薬品誤飲防止啓発事業

子どもの医薬品誤飲事故が年々増加しており、平成29年3月に厚生労働省から公表された「平成27年度 家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告」では、医療用医薬品の報告件数がたばこを抜いて1位となった。これを受けて、子どもの医薬品誤飲リスクと防止対策を周知するため、子どもの保護者を対象に啓発用ツールを増刷・配布し、注意喚起、周知徹底を図った。



子ども誤飲周知リーフレット



子ども誤飲周知ポスター

・リーフレット150,000枚・ポスター2,700枚

(3) 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進

医薬分業が進展する中、偽造・変造処方箋を用い、薬局から麻薬や向精神薬を詐取する事例が増加していること、二次的な被害（詐取された麻薬、向精神薬の転売等）に繋がることから、被害の発生を未然に防止するために各薬局が適切かつ迅速に対応することで健康被害の拡大防止のために情報の周知を図った。

①多重受診に関する情報の周知（8件）

多重受診に関する情報を収集し、リスクマネージャーを通じて薬局に情報提供することにより、再発防止を図った。

②処方箋を偽造して行使した患者情報の周知（2件）

薬局において偽造処方箋を発見した場合には、被害の拡大を防止するために速やかに最寄りの警察へ通報するとともに最寄りの保健所等への説明及び本会への情報提供をお願いし、リスクマネージャーを通じて薬局に情報提供することにより、再発防止を図った。

(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須であることから、本年度後期に日本薬剤師会との共催による研修会を4回にわたり開催した。

日 時：第1回 平成30年11月1日（木）14:00～16:00

第2回 平成30年11月1日（木）18:00～20:00

第3回 平成31年3月24日（日）10:00～12:00

第4回 平成31年3月24日（日）14:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

参加者数：第1回 184名(会員163名・一般21名)

第2回 180名(会員145名・一般35名)

第3回 178名(会員150名・一般28名)

第4回 183名(会員149名・一般34名)

内 容：「医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令について」

講師 原田 哲夫 氏（神奈川県薬剤師会元理事）

「最近の高度管理医療機器情報「皮膚欠損用創傷被覆材について」

講師 橋本 陽一 氏（スミス・アンド・ネフュー株式会社）

(5) 薬害関連資料収集検討

薬害の縮減など安全な社会づくりのため、またこれまでの薬害事例に学ぶことは重要であるとして過去の薬害を振り返るため、薬壺に次のとおり連載した。

・薬壺11・12月号 薬害の歴史について（第5回）ライシャワー事件

また、薬害を広く会員に認知していただき、日常業務に役立ててほしいため、薬害年表パネル（輸血梅毒事件・ライシャワー事件と薬害の定義、クロロキン網膜症）を作成した。

5. 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

日本赤十字社の献血事業に協力し、かながわ薬剤師学術大会にて献血ブースを設け、献血協力への呼びかけを行った。

協力者数：143名（受付166名）

(2) 薬物乱用防止の啓発

①街頭キャンペーン

ア 平成30年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

日 時：平成30年7月9日（月）15:30～16:15

会 場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主 催：神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県薬剤師会

イ 平成30年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

日 時：平成31年1月14日（月・祝）11:30～12:30

会 場：新横浜駅北口 東広場（横浜市営地下鉄側）

主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

②危険ドラッグ啓発グッズ作成

県民向けに薬物乱用防止及び薬物の危険性の周知を図るため、下記のとおり啓発資料を作成し、配布した。

啓発資材 カイロ

作製数 7,000個

主な配布場所 かながわ薬剤師学術大会



③アンチドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者等への最新情報の提供及び地域薬剤師会への情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック2018年版」購入の取り纏めを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。

(3) 公衆衛生に関する研修会の開催

ア 公衆衛生研修会

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、アンチ・ドーピングをテーマにドーピングの基礎知識から相談事例等、実践的な情報を提供することで、薬剤師・学校関係者等の衛生意識の向上を促す研修会を開催した。

日 時：平成31年2月17日（日）14:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：薬剤師が行うアンチ・ドーピング活動

講師 今井 裕久 氏（稲元薬局）

（公財）日本アンチ・ドーピング機構 公認スポーツファーマシスト

受講者数：36名（会員29名：一般7名）

イ 栄養研修会

的確な栄養指導等、来局者への健康管理に貢献するため、栄養の考え方の基礎知識を習得し、職能の向上を図るべく栄養研修会を開催した。

日 時：平成30年11月18日（日）14:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：慢性疾患に対する栄養相談のポイント

講師 工藤 雄洋 氏（恩賜財団済生会横浜市東部病院 栄養部 課長）

受講者数：55名（会員43名：一般12名）

(4) かながわ健康財団等事業への参画

薬業団体のみならず他業種の団体等と共に事業に協力することで、県民に対して様々な啓発活動を行った。

①薬物クリーンかながわ推進会議

ア 平成30年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン（再掲）

日 時：平成30年7月9日（月）15:30～16:15

会 場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主 催：神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県薬剤師会

イ 平成30年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン（再掲）

日 時：平成31年1月14日（月・祝）11:30～12:30

会 場：新横浜駅北口 東広場（横浜市営地下鉄側）

主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

②かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへの参加

ア 川崎会場①

日 時：平成30年7月22日（日）15:00～18:30

会 場：川崎フロンパーク（等々力陸上競技場前 等々力プール前広場）

出席者：紫藤 公衆衛生・学薬委員会副委員長

イ 横浜会場①

日 時：平成30年9月1日（土）16:00～18:00

会 場：日産スタジアム東ゲート前広場

出席者：金丸常務理事

ウ 横浜会場②

日 時：平成30年11月3日（土）12:00～14:00

会 場：日産スタジアム西ゲート前広場

出席者：神原 公衆衛生・学薬委員会委員長

エ 川崎会場②

日 時：平成30年11月21日（水）16:30～18:00

会 場：J R川崎駅東口駅前広場

出席者：金子理事

6. 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

介護・在宅分野において患者が、安心して高度な薬物治療を継続できるようにするため、薬剤師に最新の情報や技術などを修得する環境を提供することが必要となっている。また本会が精力的に取り組む『薬・薬連携』を通じて、一般名処方における諸問題、後発医薬品に係る諸問題等を検討し、本会と県病院薬剤師会両会会員の相互関係の理解のもと在宅医療の普及促進を行った。

①在宅医療推進研修会の開催

ア 平成30年度在宅医療研修会（伊勢原市）

共 催：伊勢原市薬剤師会

日 時：平成30年7月1日（日）14:00～15:30

会 場：伊勢原シティプラザ3階 研修室

内 容：「いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ」

講師 大島 正 氏（医療・介護保険委員会）

受講者数：21名（会員20名：一般1名）

イ 平成30年度在宅医療研修会（川崎市）

共 催：川崎市薬剤師会

日 時：平成30年9月30日（日）10:00～11:45

会 場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

内 容：「緩和ケアは誰でもできる！」

講師 日下部 明彦 氏

（公立大学法人 横浜市立大学 医学部医学科 総合診療医学教室 准教授）

受講者数：154名（会員108名：一般46名）

ウ 平成30年度在宅医療研修会（小田原市）

共 催：小田原薬剤師会

日 時：平成30年10月21日（日）13:00～16:00

会 場：小田原保健センター

内 容：「いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ」

講師 小林 弘忠 氏（医療・介護保険委員会）

受講者数：24名（会員23名：一般1名）

エ 平成30年度在宅医療研修会（茅ヶ崎市）

共 催：茅ヶ崎寒川薬剤師会

日 時：平成30年11月8日（木）19:30～21:30

会 場：茅ヶ崎市地域医療センター

内 容：「在宅中心静脈栄養法完全攻略～保険薬局における輸液・注射製剤の知識～」

講師 野田 和多流 氏（医療・介護保険委員会）

受講者数：54名（会員45名：一般9名）

オ 平成30年度在宅医療研修会（横浜市）

共 催：横浜市薬剤師会

日 時：平成31年2月10日（日）13:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「地域ケアプラザの取り組みについて 他」

講師 生田 純也 氏（泉区踊場地域ケアプラザ所長）

石津 雅典 氏（港北区篠原地域ケアプラザ 主任ケアマネージャー）

受講者数：88名（会員84名：一般4名）

カ 平成30年度在宅医療研修会（県薬剤師会主催）

日 時：平成30年12月9日（日）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「医療的ケアを必要とする子どもと家族の生活を支える医療」

講師 星野 陸夫 氏

（神奈川県立こども医療センター 地域連携家族支援局）

甲斐 維子 氏（神奈川県立こども医療センター 薬剤科）

受講者数：54名（会員45名：一般9名）

キ 患者のための薬局ビジョン推進事業

神奈川県から、平成27年10月23日に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」を推進するための事業を受託し実施した。

事業目的：薬局薬剤師が、かかりつけ機能（連携体制構築）及び健康サポート機能（健康増進支援）を発揮できる環境づくりを行う。

協力団体：横浜市薬剤師会、川崎市薬剤師会、平塚中郡薬剤師会

（ア）平成30年度神奈川県患者のための薬局ビジョン推進事業検討会

（実施者：神奈川県）

第1回 開催日 平成30年7月20日（金）

会 場 神奈川県総合医療会館

第2回 開催日 平成31年3月8日（金）

会 場 横浜市開港記念会館

（イ）在宅医療・介護における薬剤師業務実感事業

A 在宅医療・介護関係従事者等を対象とした在宅における薬剤師のニーズ調査

（主な調査対象施設）病院、歯科診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所及び地域包括支援センター

（調査件数）

実施地域	配布件数	回答件数
横 浜	約400枚	192枚
川 崎	約600枚	253枚
平塚中郡	136枚	90枚
合 計	約1,136枚	535枚

B 在宅医療・介護関係従事者等に向けた在宅における薬剤師の必要性の説明及び患者等の紹介依頼

(主な事業説明先) 医師会在宅医療リーダー医会議、ケアプラザ所長会、包括支援センター長会議、訪問看護ステーション所長会議、ケアマネジャー連絡会、在介護支援専門員研修会、宅医療連絡協議会

(実施件数)	実施地域	実施件数
	横 浜	5件
	川 崎	3件
	平塚中郡	7件
	合 計	15件

C 薬剤師による在宅訪問

(実施人数)	実施地域	実施人数
	横 浜	29人
	川 崎	8人
	平塚中郡	18人
	合 計	55人

D アンケート調査

対象者 医療・介護関係者 75人

回収数 75枚

(ウ) 子育て世代を対象とした健康相談事業

A 実施回数	実施地域	実施回数	相談者
	横 浜	10回	105人
	川 崎	7回	52人
	平塚中郡	2回	39人
	合 計	19回	196人

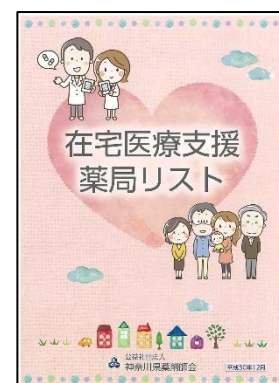
B アンケート調査

対象者 相談者 196人

回収数 196枚

②在宅医療支援薬局リスト等の作成

今年度から期間募集を辞め随時新規・変更・辞退を受け付けることとし、平成30年8月末日での申請薬局(計691薬局)を登録薬局として薬局リストを作成し、関係各所へ配布した。また、1月末日の申請薬局(計700薬局)をホームページへ掲載することで、在宅医療を支援できる薬局を県民へ広報した。



③認知症対応力向上研修会の開催

日 時：平成30年9月9日（日）14:00～17:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア 「認知症施策の現状」

講師 水野 義之 氏（大和市健康福祉部高齢福祉課 認知症施策推進担当主査）

イ 「行政書士が感じる認知症のある方の成年後見制度の有用性について」

（ア）「一般社団法人コスモス成年後見サポートセンターの活動内容

～成年後見制度の活用について～」

講師 村上 崇文 氏

（一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部 研修委員長）

（イ）「受任業務における事例報告

～在宅、施設の困難事例に学ぶ、薬剤師との連携のお願い～」

講師 蛭川 奈美 氏（神奈川県行政書士会 研修部長）

平 悦子 氏（同 研修部員）

沖田 輝義 氏（同 研修部員）

ウ 「若年性認知症支援コーディネーターの役割」

講師 古屋 富士子 氏

（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター看護師）

エ 若年性認知症という体験を語る「認知症の人の自立と社会参加」

「毎日を楽しみながら病気と付き合っています。」

講師 稲田 秀樹 氏（一般社団法人かまくら認知症ネットワーク代表理事）

近藤 英男 氏（若年性認知症患者）

受講者数：107名（会員88名：一般19名）

④居宅療養管理指導マニュアルの作成

今年度の診療報酬改定に伴い、地域において多職種と連携し薬剤師が在宅療養に参画する一助になるよう「居宅療養管理指導マニュアル 第3版」の編集（改訂）を行い、株式会社じほうから発行した。

（初版発行部数2,000部）



⑤出前講座の実施

神奈川県からの事業委託を受け、薬局に従事する薬剤師が医薬品の作用や服用方法等に関する県民向けの講習会を行うことにより、医薬品に関する正しい知識を普及させ、医薬品の適正使用を促進するとともに、後発医薬品の品質や安全性について周知することで後発医薬品の使用促進を図った。（30件・24団体・859名）

⑥福祉関係者等との連携強化

ア 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会の推薦により派遣された医療・介護保険委員会委員が、専門研修課程の一部を担当し、介護支援専

門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

(ア) 派遣先 健康推進財団

派遣回数 4回

派遣日程 7月11日、8月4日、12月14日、1月11日

(イ) 派遣先 合同会社 介護の未来

派遣回数 1回

派遣日程 12月18日

(ウ) 派遣先 (合同開催) 神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、
川崎市社会福祉協議会

派遣回数 1回

派遣日程 9月21日

(エ) 派遣先 学校法人 西田学園

派遣回数 1回

派遣日程 11月22日

(オ) 派遣先 (合同開催) 神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、
健康推進財団

派遣回数 1回

派遣日程 2月4日

(2) 薬・薬連携の強化と相互の資質向上

① 県病薬との合同研修会の開催

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

(第17回かながわ薬剤師学術大会の分科会として実施)

日 時：平成31年1月20日(日) 14:45～16:15

会 場：パシフィコ横浜

内 容：

(ア) 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携に期待すること

講師 田宮 憲一 氏(厚生労働省保険局医療課 薬剤管理官)

(イ) 平塚中郡薬剤師会方式による Adverse Event 報告の薬薬連携システム

講師 飯塚 敏美 氏(公益社団法人平塚中郡薬剤師会・望星薬局)

(ウ) 副作用を含む有害事象報告の薬薬連携～病院薬剤師の役割～

講師 鈴木 優司 氏(東海大学医学部附属大磯病院薬剤科)

(エ) 検査値記載の処方箋から考える 薬剤師の地域連携の在り方について

講師 飯田 純一 氏(済生会横浜市南部病院 地域連携推進部 入退院支援センター)

(オ) 検査値記載の処方箋から考える「保険薬局薬剤師」と「病院薬剤師」の連携の在り方について

講師 三澤 喜彦 氏(有限会社ファーマシー丸山台)

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ2019

日 時：平成31年2月24日（日）9:00～16:40

会 場：横浜市立大学 福浦キャンパス 看護教育研究棟

内 容：

（ア）「皮膚科医による在宅褥瘡治療

～実際の症例をもとに薬剤・被覆材の効果を探る～」

講師 袋 秀平 氏（ふくろ皮膚科クリニック）

（イ）「医師が認めた薬剤師の視点による褥瘡の外用薬治療～Furuta Methods!!

薬剤師の褥瘡チーム実践力を身につける徹底研修」

講師 古田 勝経 氏（愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長

（国立長寿医療研究センター特任研究員）

（ウ）薬剤以外の褥瘡治療・ケア材料を制度と臨床の視点で整理する

－創傷被覆材・スキンケアからガーゼ・絆創膏まで－

講師 高水 勝 氏（スリーエムジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー
医療用製品事業部マネジャー）

受講者数：43名（会員26名：一般17名）

（3）後発医薬品の使用促進

①県民向け使用促進

後発医薬品の信頼性を高め、医療関係者及び患者が安心して後発医薬品を使用することを図るため、県民向けの普及啓発用リーフレット（2017年作成）を本会ホームページに掲載し、自由にダウンロードして使用できる整備を行った。

（4）医薬分業の質的向上

①保険研修会の開催

ア 保険薬剤師のための保険研修会（実践編：県薬剤師会主催）

日 時：平成30年6月24日（日）14:00～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：（ア）「薬剤服用管理指導簿の効率的な記載方法について」

講師 小林 弘忠 氏（医療・介護保険委員会）

（イ）服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

受講者数：32名（会員30名：一般2名）

イ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編：相模原市薬剤師会共催）

日 時：平成30年11月11日（日）13:30～16:30

会 場：ユニコムプラザさがみはら

内 容：（ア）「薬剤服用管理指導簿の効率的な記載方法について」

講師 野田 和多流 氏（医療・介護保険委員会）

（イ）服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

受講者数：52名（会員38名：一般14名）

②薬学管理料の効果調査

今回は「重複投薬・相互作用等防止加算」に焦点をあて調査対象薬局へアンケートを行い、計40件の結果を回収し考察を行った。

ア 調査対象薬局

(ア) 神奈川県薬剤師会 医療・介護保険委員会 委員所属薬局

(イ) 神奈川県薬剤師会 地域保健委員会 委員所属薬局

(ウ) その他協力薬局（上記薬局を除く「くすりと健康相談薬局」、「健康サポート薬局」）

イ 調査期間 2月1日～28日の1か月間

ウ 調査事項

(ア) 2月分の総受付処方箋回数

(イ) 疑義照会を行った処方箋枚数

(ウ) ○防算定回数

(エ) 残薬調整に係るものの以外の場合で算定した際に回避できたリスク分類

※リスク分類は各薬局で判断する。

レベル1（日常生活に支障を来たすほどではないが身体の変調・不調が起る恐れがある）

レベル2（日常生活に支障を来たす恐れがある）

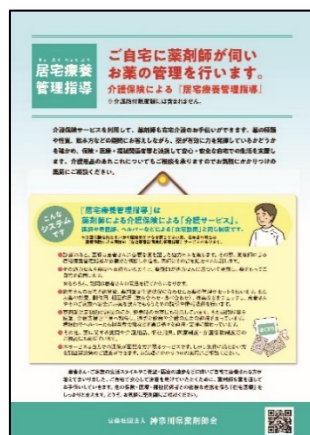
レベル3（生命に危険を脅かす恐れがある）

(オ) 残薬に係るもので削除した薬価の合計金額

(カ) 1日平均勤務薬剤師数

③居宅療養管理指導リーフレットの見直し

居宅療養管理指導リーフレットの見直しを行い、作成した80,000部を在宅医療支援薬局及び会員薬局へ配布することで薬剤師が在宅介護のお手伝いを担えること、保健・医療・福祉関係者等との連携、安心・安全な自宅での生活支援が可能であることの啓発を行った。



〈表〉



〈裏〉

④保険薬局ハンドブックの作成

平成30年度の調剤報酬・改定に伴い、保険薬局ハンドブックの見直しを行った。

3,000部作成し、会員薬局宛て発送すると共に希望者へは有償販売を行った。

会員： 500円／1冊

一般：2,000円／1冊

3月末までに60冊を販売



⑤診療報酬の適正な保険事務の推進事業

会員の診療報酬改定に関する疑問に答えるため、医療・介護保険委員会（以下医保委員会）が中心となり平成30年度診療報酬改定において、会員からの質問に電話対応を行った。

3月27日から4月6日までの期間で医保委員会委員及び有識者を含む10名が対応し、21件の質問に回答した。なお、改定内容に関するもの6件、届け出に関するもの13件、改定に関係のないもの2件であった。特に質問の多かった地域支援体制加算届け出書のプレアボイド報告、副作用報告に関する部分について県薬剤師会で回答を作成し、関東信越厚生局神奈川事務所の確認を受けたのちメールマガジンで会員に周知した。

⑥保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に開催した。

⑦保険薬局における掲示物についての薬壺掲載

保険薬局において各掲示物の適正な掲示が行われているか確認を促す目的で、薬壺2019年3・4月号に記事を掲載した。

（5）外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

①「外国籍県民のための服薬情報提供文書」及び「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」について

本会ホームページに標記ツールを掲載し、外国籍県民が医薬品を適正使用するための支援を行った。

②「多言語音声翻訳アプリ（VoiceTra）」及び「多言語医療問診票」について

本会ホームページに標記ツールを掲載し、外国籍患者が薬局に来局された際の対応力向上を図った。

（6）地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し経費の一部を補助するため、公益目的事業補助金を交付した。また、先導的事业に対しても、先導的事业委託金を交付した。

- | | | | |
|------------|-------------|-----|-------------|
| ①公益目的事業補助金 | 19地域・職域薬剤師会 | 交付額 | 21,862,000円 |
| ②先導的事業委託金 | 4 地域薬剤師会 | 〃 | 1,960,000円 |

(7) 健康サポート薬局関連事業の推進（研修会開催等）

平成 28 年 2 月、厚生労働省より、「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示が公布された。日本薬剤師会と連携のもと、研修事業を実施した。

①健康サポート薬局にかかる技能習得型研修会の開催

平成30年 7月 8日（日）	横浜市薬剤師会	（研修会 A・受講者37名）
平成30年 8月 5日（日）	川崎市薬剤師会	（研修会 A・受講者19名）
平成30年11月23日（金・祝）	横須賀市薬剤師会	（研修会 A・受講者 9名）
平成30年12月16日（日）	神奈川県薬剤師会	（研修会 B・受講者42名）

受講者総数 107名（研修会 A 65名 研修会 B 42名）

※県内健康サポート薬局登録数：77薬局（3/31現在）

7. 災害時医療救護活動に関する事業

大規模災害の発生が懸念されるなか、災害時体制の強化のため、災害時の情報の収集、医薬品の確保の検討、具体的なマニュアルの検討及び災害時優先携帯電話の訓練等を実施した。



(1) マニュアルの改訂

災害対策検討委員会において、事務手順や支援体制の想定及び復興体制の確立のため議論整理が必要であり、災害時の適正な調剤を維持するため、情報収集体制、指揮命令系統、整備の検討を適切な医薬品等の供給体制へと活かしていくことに向け検討を行なった。

(2) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会の災害時優先携帯電話の所有者の確認と新機種への変更を行った。

日 時：平成 30 年 12 月 4 日～7 日

対 象：災害時優先電話保持者 78 回線

実施方法：災害時優先携帯電話への直接通話

(3) 災害用備蓄品の整備

会館業務の一環である災害対策用備蓄について、消費期限の経過した備蓄品の補充及び電力確保の強化のための簡易発電機（カセットガスボンベ使用）の整備を行なった。

災害対策用備蓄品一覧 <P. 63 参照>

Ⅱ 法人組織運営に関すること

1. 総会、理事会等開催など

(1) 会議等の開催

①総会、理事会、常務理事会、正副会長会など諸会議の円滑な運営などを行った。

②総務委員会（5月9日、8月29日、10月17日、10月31日、12月5日、1月21日）

5月9日の委員会で平成29年度事業報告及び収支決算等についての検討を行った。また会費未納者の会費・会員資格の取扱を明確にするため、会員・会費規定等の見直しを3月の臨時総会に向けて検討をした。

8月29日の委員会では、平成31年度事業計画・予算編成への取り組みのほか、新規会員獲得に向けて、平成31年度に実施できる対策案に取り組み始めた。また、新入会申込書の作成案についても検討した。

10月17日の委員会では、新規入会申込書及び会員証期限延長シールの最終確定、新規会員獲得に向けての具体的な対策案を検討した。また、2019年度公益目的事業補助金・先導的事业委託金の申請条件について見直しを行った。

10月31日の委員会では、平成30年度事業中間報告及び平成31年度事業計画並びに予算原案の取りまとめを行ったほか、個人情報保護に係る基本方針と個人情報等取扱規則について検討を行った。

12月5日の委員会では、会費未納者の会費・会員資格の取り扱いに係る各諸規程について最終案を作成し、また新規会員増強策の一環として、平成31年1月新規入会者から葉壺に名前等を掲載し会員へ紹介するため、準備を行った。

1月21日の委員会では平成31年度事業計画並びに予算の最終案について文言整理を行ったほか、次年度理事会への新規会員増強策に伴う中間報告書として、事業見直し、魅力、信念等の施策、目標等も含め、分野問わず議論した。

③総会議事運営委員会（4月19日、1月24日）

通常総会・臨時総会の運営について、「議事運営委員会運営要綱」に基づき、総会の運営方法について協議した。

④代議員選挙管理委員会（11月29日、2月18日）

ア 平成31・32年度を任期とする代議員選挙・補欠の代議員選挙
(代議員75名、補欠の代議員17名)

代議員選挙立候補書類審査 平成31年2月18日

代議員選挙告示 平成31年1月18日

選挙期日 平成31年3月11日

当選者告示 平成31年3月13日

⑤神奈川県三師会役員連絡協議会

本年度は、医師会が当番となり次のとおり開催された。出席者は、医師会23名、歯科医師会21名、本会19名、合計63名であった。

日 時：平成31年9月25日（火）17:00～20:30

会 場：横浜ベイホテル東急

内 容：協議テーマ「健康寿命延伸のための取り組みについて」

医師会）

糖尿病の合併症と健康寿命～大規模臨床試験からみる合併症対策～

高井 昌彦 氏（神奈川県医師会理事）

歯科医師会）

ア 健康寿命延伸への寄与を目指す糖尿病医科歯連携について

鈴木 信治 氏（神奈川県歯科医師会理事）

イ 健康寿命延伸の鍵～神奈川県におけるオーラルフレイル対策

佐藤 哲郎 氏（神奈川県歯科医師会理事）

薬剤師会）

健康寿命延伸に向けた取り組み～薬剤師の役割

大島 崇弘 氏（神奈川県薬剤師会地域保健委員会副委員長）

⑥神奈川県薬剤師会会長賞及び有功賞の受賞者表彰式・日本薬剤師会有功賞

伝達表彰式・各賞受賞者祝賀会

日 時：平成31年1月20日（日） 12:00～13:30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル3階「アトランティック」

参 加：31名（内受賞者16名）



（２）公益法人制度への対応

①書類の提出

公益社団法人としての定期提出書類「平成29年度事業報告等」・「平成31年度事業計画等」を神奈川県へ提出した。

2. 組織強化と財務の健全化

(1) エリア活動交付金の交付

地域薬剤師会との連携を強化するとともに、本会の事業の円滑かつ効率的な執行を図るため、「神奈川県薬剤師会エリア活動交付金要綱」に基づき18地域の地域薬剤師会へエリア活動交付金を交付した。

(2) 公益法人運営特別会費検討委員会の開催

平成31年の借入金返済完了を契機とした公益法人運営特別会費の今後のあり方について検討を重ねた結果、過去の経緯等も鑑み、会館建設に関する費用の見直しにより改正案を検討した。特別会費については、今後とも安定的な事業運営を行うためにも、特別会費制度を廃止せず、現行より全体的には負担軽減になるよう加味して段階数を減じ、2020年度より5段階の新たなランク案に変更することが妥当である旨、会長宛に答申書を提出した。

第1回 平成30年4月13日（金）

第2回 平成30年8月23日（木）

(3) 創立130周年記念事業

令和元年度（2020年2月23日）に創立130周年を迎えるにあたり、本会の歴史を次世代に伝え、薬剤師・薬局のあるべき姿を未来に繋いでいくような記念誌を作成するため、薬史学等の学識者を含むワーキンググループを設置し、検討を行った。

①ワーキンググループメンバー7名：

天野 宏 氏（日本薬史学会評議員）、益山 光一 氏（東京薬科大学教授）、
高橋 倫理・広報出版委員会委員、村瀬有功会員、
後藤副会長、井上専務理事、伊藤常務理事、

②打合せ会議の開催 7回：5/31、6/29、7/31、9/13、11/1、1/10、3/11

③記念誌作成打合せ 1回：8/29

記念誌の内容に関しては、『神奈川県薬剤師会100年史』、『神奈川県薬剤師会創立110周年・社団法人50周年記念誌～神奈川県薬剤師会この10年の歩み～』のその後の17年間（2002年1月～2018年12月）の歴史的記録〈資料編〉及びその間のトピックス的事項や医薬分業の経緯についての座談会を開催してメイン記事の作成〈記述編〉について検討を行った。

なお、記念誌の発行のほかに、記念シンポジウム及び記念式典などの開催を計画している。

(4) 会計検査院実地検査の実施

平成27年度国庫補助事業（在宅医療用麻薬等円滑供給事業及び薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業）に係る会計実地検査が次のとおり実施され、概ね妥当とされた。

日 時：平成30年 4 月19日（木） 9:00～10:30

場 所：神奈川県総合薬事保健センター

出席者：検査者 会計検査院 池田調査官補

随行者 県健康医療局総務室 伊藤 氏

立会者 県薬務課 石川・黒澤・深町 氏

3. 会員管理

(1) 会員管理

- ①入会申請に係る入会審査は53回実施し、356名を承認した。(前年度：326名)
- ②会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。
- ③地域及び職域薬剤師会の会員担当、事務局等へ入退会、変更について通知した。
- ④日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し報告した。
- ⑤薬剤師賠償責任保険加入手続きに伴う日薬からの会員登録確認に対応した。
- ⑥会員管理システムの修正を行った。

(2) 県薬会費・公益法人運営特別会費の請求業務

- ①県薬会費・公益法人運営特別会費及び日薬会費の請求書送付
 - ・口座振替1回(6月)
 - ・コンビニ収納による会費等の請求2回(9月・1月)
- ②平成31年度公益法人運営特別会費及び保険薬局分担金のランク調査を実施した。
(平成30年10月～平成31年3月)

(3) 入会の促進

- ①本会主催の研修会に参加した未入会の薬剤師に対し、入会勧誘を行った。
- ②非会員の保険薬局に対し保険薬局分担金の納入を依頼し、趣旨に賛同して納入していただいた薬局に謝礼として薬壺1年分を送付するとともに、入会勧誘を行った。

(4) 会員サービス等業務

- ①薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒物劇物一般販売業、高度管理医療機器等販売業等の更新申請書を送付した。(平成30年4月～平成31年3月発送分、444店舗)
- ②薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用拠出金・安全対策等拠出金の申告及び納入業務を行った。195件(平成30年8月～9月)
- ③麻薬取扱者免許の継続申請及び平成30年麻薬年間届を所轄保健所へ提出するよう該当者へ申請書類等を送付した。1,846件(平成30年9月)

(5) 日本薬剤師会からの受託事業

- ①日薬会費の徴収を行うため日本薬剤師会と事業連携協力に関する覚書を締結した。
- ②日薬会費徴収分を日本薬剤師会へ送金した。(平成30年9月・平成31年3月)
- ③日本薬剤師国民年金基金の加入者に対して、薬局従事者である資格証明を行った。
- ④日本薬剤師会の会員数を調査し、日本薬剤師会へ報告した。(平成30年11月)
- ⑤日本薬剤師賠償責任保険・日本薬剤師会薬剤師年金の加入希望者にパンフレットを送付した。

Ⅲ 共益事業

1. 薬剤師の生涯学習の推進

薬剤師法第1条に「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。」と規定されていることから、薬剤師の資質向上（医療・薬学技術の進歩及び医療ニーズの変化に伴う知識・技能等の修得及び業務の実践力の醸成等）を目的として、学習の機会を広く提供し、自己研鑽の支援を行った。

また、薬剤師の生涯学習が系統的に実施されるよう、認定事務の推進を図った。

（1）学習意欲の喚起

学習意欲を喚起するため、各研修会で認定制度の広報活動を行った。

主に研修会場で生涯学習認定制度の説明、研修申請手順書（各研修会配布）の配布、本会会誌「薬壺」・本会ホームページ掲載、かながわ薬剤師学術大会ブース出展を行った。

①各研修会で認定制度の周知等を実施

ア 研修会における生涯学習認定制度の説明

イ 研修申請手順書（各研修会配布）の配布

②本会会誌「薬壺」掲載

③本会ホームページ掲載

④かながわ薬剤師学術大会ブース出展

⑤研修受講（2019年度）シールの作成

・ 1単位 9,600枚

・ 0.5単位 2,400枚

⑥生涯学習記録ファイルの作成、配布

・ ファイル規格 リングファイル

・ 作成冊数 1,000冊



研修受講シール（2019年度）



生涯学習記録ファイル

（2）学習活動への支援

①学習機会の提供 研修事業一覧 ※別表1

本会各委員会あるいは地域薬剤師会と協働し、研修会を提供した。

受講者が、生涯学習プランを円滑にたてられるように、各研修会は（公社）日本薬剤師会が策定したプロフェッショナルスタンダード（PS）を準用し、さらに研修の目的・内容・受講者の到達目標を明確にした上で企画・実施された。

②認定研修会

認定研修開催数 37回 ※別表1

受講者数 2,495名（会員1,987名、一般508名）

ア 第1回倫理研修会

日 時：平成30年10月14日（日）13:30～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：薬剤師の底力、未来を切り開く歴史と哲学

講師 高橋 洋一 氏（横浜薬科大学 客員教授）

受講者数：29名（会員28名：一般1名）

イ 第2回倫理研修会

日 時：平成31年2月16日（土）17:00～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：新入局薬剤師と経験豊かな薬剤師とのギャップ～倫理観を共有するには～

講師 鈴木 順子 氏（北里大学薬学部 薬学教育研究センター
社会薬学部門 教授）

受講者数：26名（会員26名：一般0名）

ウ 倫理研修会（川崎）

（共催 一般社団法人川崎市薬剤師会）

日 時：平成30年6月10日（日）13:35～16:45

会 場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

内 容：薬局における臨床研究と倫理審査について

講師 上村 直樹 氏（東京理科大学薬学部教授）

受講者数：58名（会員56名：一般2名）

エ 倫理研修会（横浜）

（共催 一般社団法人 横浜市薬剤師会）

日 時：平成30年8月4日（土）18:00～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：日常業務における薬剤師の倫理Ⅲ

講師 高橋 洋一 氏（横浜薬科大学 客員教授）

受講者数：28名（会員15名：一般13名）

オ 新任薬剤師研修会

日 時：平成30年7月8日（日）13:00～16:15

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：（ア）プレアボイド報告について

講師 小島 昌徳 氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部）

（イ）薬剤師の倫理

講師 三澤 喜彦 氏（有限会社ファーマシー丸山台）

（ウ）適正な保険請求（算定要件）について

講師 福島 仁 氏（くすり サガミ薬局）

(エ) 法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・
してはならない事」

講師 大岡 元 氏 (株式会社大岡薬局)

受講者数：48名 (会員23名：一般25名)

カ 薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～

日 時：平成30年12月15日 (土) 15:00～18:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：(ア) 医薬品医療機器等法に関する話題等

講師 黒澤 淑子 氏 (神奈川県健康医療局 生活衛生部薬務課)

(イ) 薬学管理としての患者管理

講師 柳川 忠二 氏 (関東信越厚生局神奈川事務所)

(ウ) 問題のある保険請求について

講師 阿部 正隆 氏 (国民健康保険診療報酬審査委員)

(エ) シンポジウム

「社会から評価される倫理観のある薬局・薬剤師になるためには」

山口 育子 氏 (認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長)

高橋 洋一 氏 (神奈川県薬剤師会 倫理委員会委員)

伊藤 啓 氏 (神奈川県薬剤師会 常務理事)

受講者数：54名 (会員45名：一般9名)

(3) 学習環境の整備

① 研修企画・運営等セミナーの受講 (1名)

日 時：平成30年7月11日 (水) ～ 7月13日 (金) 3日間

1日目10:00～18:30 2日目9:30～18:00 3日目9:30～16:30

名 称：産能マネジメントスクール公開セミナー (研修企画担当者基本)

主 催：学校法人産業能率大学 総合研究所

会 場：産業能率大学 代官山キャンパス (東京都目黒区)

出席者：三澤 生涯学習委員会副委員長



② 平成30年度研修事業調整会議の開催

日 時：平成30年8月23日 (木) 19:00～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出席委員会：倫理研修小委員会、医療・介護保険委員会、公衆衛生・学薬委員会

地域保健委員会、リスクマネジメント委員会、学術大会実行委員会

(会議内容)

ア 本会の生涯学習認定制度の特色等からPDCAサイクル (Plan(計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善)) の4つの段階を循環させることにより、
研修事業の改善・効率化する方法を説明

イ 神奈川県薬剤師会生涯学習認定制度を説明

- ウ 各委員会の研修担当者総合討論・意見交換
- エ 各委員会の研修担当者にアンケートの実施

③共催研修事業の視察（対象研修）

- ア 平成30年6月9日（土）医療安全に対する薬剤師の更なる貢献研修会
（小田原薬剤師会・相模原市薬剤師会・藤沢市薬剤師会）
- イ 平成30年9月29日（土）肝疾患コーディネーターセミナー（神奈川県）
- ウ 平成30年11月1日（木）三師会合同研修会
（小田原医師会・小田原歯科医師会・小田原薬剤師会）
- エ 平成30年11月15日（木）調剤事故防止及び医療保険研修会（相模原市薬剤師会）

（４）学習成果の活用

- ①認定研修会の評価・認定薬剤師の認定等の審査を実施
- ②生涯学習認定制度30年度認定者数 21名（総認定者数31名）

（５）推進体制の整備

- ①認証制度（C P C）の運用（薬剤師認定制度認証機構）
- ②定時社員総会（薬剤師認定制度認証機構）
 - ア 平成30年度定時社員総会
 - 日 時：平成30年6月29日（金）14:00～16:00
 - 会 場：ニッショーホール（東京都港区）
- ③認定薬剤師認証研修機関協議会
 - ア 第22回認定薬剤師認証研修機関協議会
 - 日 時：平成30年8月25日（土）14:00～17:00
 - 会 場：ガーデンシティ御茶ノ水（東京都千代田区）

No.	企画・運営所管委員会	研修名	日程	曜日	時間	会場	受講者数	(会員受講者数)	くすりと健康	(一般受講者)	共催団体
1	地域保健委員会	セルフメディケーション研修会 ～総論編～	4月15日	日	13:00- 16:30	神奈川県総合薬事 保健センター	89	82	5	7	-
2	公衆衛生・学薬委員会	学校薬剤師研修会	5月20日	日	14:00- 16:45	神奈川県総合薬事 保健センター	56	55	4	1	-
3	-	医療安全に対する薬剤師 の更なる貢献研修会 (相模原)	6月9日	土	18:30- 20:35	おださがプラザ	64	62	2	2	公益社団法人 小田原薬剤師会 公益社団法人 相模原市薬剤師会 一般社団法人 藤沢市薬剤師会
4	倫理委員会	倫理研修会(川崎)	6月10日	日	13:35- 16:45	川崎市総合福祉センター (エポックなかほら)	58	56	2	2	一般社団法人 川崎市薬剤師会
5	医療・介護保険委員会	保険薬剤師のための 保険研修会-実践編-	6月24日	日	14:00- 17:00	神奈川県総合薬事 保健センター	32	30	3	2	-
6	-	在宅医療研修会(横須賀)	7月1日	日	14:00- 17:30	横須賀市薬事衛生セン ター	38	30		8	一般社団法人 横須賀市薬剤師会
7	医療・介護保険委員会	在宅医療研修会(伊勢原)	7月1日	日	14:00- 16:50	伊勢原シティプラザ	21	20		1	一般社団法人 伊勢原市薬剤師会
8	医療・介護保険委員会	新任薬剤師研修会	7月8日	日	13:00- 16:15	神奈川県総合薬事 保健センター	48	23	11	25	-
9	地域保健委員会	セルフメディケーション啓発 推進研修会-各論編-(藤沢)	7月22日	日	13:00- 17:30	藤沢商工会館ミナパーク	51	50	1	1	湘南東地域薬剤師会協議会
10	公衆衛生・学薬委員会	第1回学校環境衛生検査 技術伝達講習会	7月29日	日	10:00- 13:00	大和市学校薬剤師検査室	29	26		3	-
11	倫理委員会	倫理研修会(横浜)	8月4日	土	18:00- 21:00	神奈川県総合薬事 保健センター	28	15		13	一般社団法人 横浜市薬剤師会
12	公衆衛生・学薬委員会	第2回学校環境衛生 検査技術伝達講習会	9月2日	日	15:00- 18:00	小田原市保健センター	38	35		3	-
13	-	リスクマネジメント研修会 (横浜)	9月8日	土	18:00- 21:00	神奈川県総合薬事 保健センター	36	32		4	-
14	地域保健委員会	認知症対応力向上研修会	9月9日	日	14:00- 17:45	神奈川県総合薬事 保健センター	107	88		19	-
15	-	肝疾患コーディネーター セミナー	9月29日	土	18:00- 21:00	東海大学医学部付属病院	28	21		7	神奈川県

No.	企画・運営所管委員会	研修名	日程	曜日	時間	会場	受講者数	(会員受講者数)	くすりと健康	(一般受講者)	共催団体
16	医療・介護保険委員会	在宅医療研修会(川崎)	9月30日	日	10:00-11:45	川崎市総合福祉センター(エボックなかはら)	154	108	1	46	一般社団法人 川崎市薬剤師会
17	倫理委員会	第1回倫理研修会	10月14日	日	13:30-16:30	神奈川県総合薬事保健センター	29	28		1	
18	医療・介護保険委員会	在宅医療研修会(小田原)	10月21日	日	13:00-16:00	生きがいふれあいセンターいそしぎ	24	23		1	公益社団法人 小田原薬剤師会
19	-	肝疾患コーディネーターセミナー	10月25日	木	15:00-18:00	聖マリアンナ医科大学病院	5	4		1	神奈川県
20	-	三師会合同研修会(小田原)	11月1日	木	19:00-20:30	おだわら総合医療福祉会館	109	46		63	一般社団法人 小田原医師会 一般社団法人 小田原歯科医師会 一般社団法人 小田原薬剤師会
21	医療・介護保険委員会	在宅医療研修会(茅ヶ崎)	11月8日	木	19:30-21:00	茅ヶ崎市地域医療センター	54	45		9	一般社団法人 茅ヶ崎寒川薬剤師会
22	医療・介護保険委員会	保険薬剤師のための 保険研修会-実践編- (相模原)	11月11日	日	13:30-16:30	ユニコムプラザさがみはら	52	38	6	14	公益社団法人 相模原市薬剤師会
23	-	調剤事故防止及び 医療保険研修会(相模原)	11月15日	木	19:00-22:00	相模原南メディカルセンター	69	62		7	公益社団法人 相模原市薬剤師会
24	公衆衛生・学薬委員会	栄養研修会	11月18日	日	14:00-16:00	神奈川県総合薬事保健センター	55	43	4	12	-
25	-	肝疾患コーディネーターセミナー	11月29日	木	15:00-18:00	北里大学病院	7	3		4	神奈川県
26	-	小児在宅医療研修会(横浜)	12月1日	土	18:30-20:00	神奈川県総合薬事保健センター	55	39		16	一般社団法人 横浜市薬剤師会
27	医療・介護保険委員会	在宅医療研修会	12月9日	日	13:00-16:30	神奈川県総合薬事保健センター	54	44	5	10	-
28	医療・介護保険委員会	薬局開設者・管理者等が 受けるべき研修会 ～倫理研修～	12月15日	土	15:00-18:00	神奈川県総合薬事保健センター	54	45	3	9	-
29	-	肝疾患コーディネーターセミナー	12月20日	木	18:00-21:00	横浜国立大学附属 市民総合医療センター	15	7		8	神奈川県
30	学術大会実行委員会	第17回 かながわ薬剤師学術大会	1月20日	日	9:00-16:40	パシフィコ横浜	680	530		150	公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 ※受講者は神奈川県薬剤師会参加者の数

No.	企画・運営所管委員会	研修名	日程	曜日	時間	会場	受講者数	(会員受講者数)	くすりと健康	(一般受講者)	共催団体
31	-	肝疾患コーディネーターセミナー	1月24日	木	15:00-18:00	横浜市立大学附属病院	17	4		13	神奈川県
32	地域保健委員会	セルフメディケーション研修会～各論編～	2月3日	日	15:00-17:00	神奈川県総合薬事保健センター	99	82	10	17	-
33	医療・介護保険委員会	在宅医療研修会(横浜)	2月10日	日	13:00-16:00	神奈川県総合薬事保健センター	88	84		4	一般社団法人 横浜市薬剤師会
34	倫理委員会	第2回倫理研修会	2月16日	土	17:00-20:00	神奈川県総合薬事保健センター	26	26	3	0	-
35	公衆衛生・学薬委員会	公衆衛生研修会	2月17日	日	14:00-16:00	神奈川県総合薬事保健センター	36	29	3	7	-
36	医療・介護保険委員会	褥瘡治療薬サミット inかながわ2019	2月24日	日	9:00-16:40	横浜市立大学附属病院 福浦キャンパス	43	26		17	公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会
37	リスクマネジメント委員会	薬局プレアポイド研修会	3月7日	木	19:00-21:00	神奈川県総合薬事保健センター	47	46 (学生1名含む)		1	-
							2495	1987	63	508	

2. リスクマネジメントシステムの充実

(1) 薬局プレアボイドの事例収集

薬局プレアボイド事業は、薬物治療において、薬剤師が患者の安全を守るための重要な立場にあり、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて事例収集事業を実施した。

①第4回薬局プレアボイド報告キャンペーン

日 程：平成30年9月1日（土）～9月30日（日）

報告数：314件

委員会奨励賞：古平 圭吾 氏（二俣川薬局）

荒川有紀子 氏（株式会社わかば わかば薬局相模原緑店）

（3/7薬局プレアボイド研修会にて表彰）

(2) 薬局プレアボイド研修会の開催

日 時：平成31年3月7日（木）19:00～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「薬局プレアボイド解析結果の考察」

講師 小島 昌徳 氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部）

「医薬品の安全対策と薬剤師 ～適正使用の担い手～」

講師 関野 秀人 氏（厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課課長）

(3) リスクマネジャー会議の開催

リスクマネジメントの具体的な実態「リスクとは何か」「どのような事故が発生しているのか」やリスクの評価・分析「発生した事故の状況は」「事故による影響は」等の評価・分析・対応・処理・再発防止をするなど情報共有及び検討等の会議を2回実施した。

①第1回 平成30年7月12日（木）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「過去のクレームへの対応事例、判例について」

講師 島崎 友樹 弁護士（北田・島崎・武藤法律事務所）

②第2回 平成30年9月20日（木）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

ア 「薬局プレアボイドキャンペーンと薬局プレアボイド研修会について」

講師：小島 昌徳 氏（安全管理対策小委員会 小委員長）

イ 「副作用報告の手順書の作成について」

講師：村上 和宣 氏（調剤事故対策小委員会 小委員長）

ウ 「副作用報告制度について」

講師：後藤 洋仁 氏（横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター

臨床試験管理室 臨床試験管理担当係長）

(4) 「2018県下統一調剤事故防止研修会」の実施

医薬品医療機器等法に定められた承認申請資料等の基準適合性調査の目的や調査の際の問題点に加え、最近の事例から適切な治験・調査を実施するための留意点等、また、医薬品等の審査及び治験に関する最近の動向を紹介する地域薬剤師会との共催研修会（DVD）を下記のとおり開催した。

開催団体 地域薬剤師会 27団体

開催会場 各地域

開催内容 2018県下統一調剤事故防止研修会（DVD）

講師 後藤 洋仁 氏 （横浜市立大学附属病院）

受講者数 976名

(5) 偽造処方箋への対応に関する緊急会議

日時：平成30年11月8日（木）17:00～18:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：偽造処方箋行使に係る情報について

出席者：伊藤・金丸常務理事、坂本・山形理事、金 リスクマネジメント委員会委員長、石井同副委員長他6名

(6) 神奈川県病院薬剤師会とのプレアボイドに関する情報交換

薬局薬剤師が患者の基本情報を的確に集収し、副作用や相互作用、治療効果不十分等、患者に対して最適な薬物治療を実施した事例（プレアボイド）収集を行ってきたが、薬局、病院との連携・情報交換を拡充することにより、薬局薬剤師と病院薬剤師それぞれが、患者に対する薬物治療に関して異なった立場・観点から、プレアボイドの有用性を高めることを目的とした研修会等の計画立案の検討を行った。

3. 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及

日本薬剤師会会員を対象として、薬局の有事に備えるため各保険を紹介するべくパンフレット等を配布した。

4. 会誌「薬壺」発行事業

薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、厚生労働省・神奈川県の変向、日本薬剤師会等からの通知、薬業界の話題等を掲載し、薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に資した。

また、平成31年1月の新規入会会員より、薬壺へ名前等を掲載する会員紹介を行うため、会員証発送時にその旨の案内及び掲載可否の確認を行った。(2019年5・6月号より掲載予定)

- ・会誌発行：『薬壺』年6回発行（隔月奇数月）
- ・会誌配布先：会員、各都道府県薬剤師会、保健センター、薬科大学、新聞社 他

発行月	頁数	広報出版委員会企画記事
5・6	74	①座談会「あなたならどうする？薬剤師さん！」 ②薬局の正体 ③地域・職域薬剤師会における災害時対策 ④病院薬剤師の業務について ⑤新薬紹介
7・8	58	①第16回かながわ薬剤師学術大会報告（優秀賞紹介） ②新薬紹介
9・10	58	①神奈川県薬物乱用防止指導員として活動しています ②生涯学習委員会委員長に聞く ③新薬紹介
11・12	58	①神奈川県薬としての薬機法改正に対する意見 ②第16回かながわ薬剤師学術大会（くすりと健康相談薬局ブース取材） ③薬害関連収集検討事業－薬害の歴史について－ ④ヘルマン・リッテル余聞
1・2	62	①ヘルマン・リッテル余聞 ②新薬紹介
3・4	76	①座談会「今、なぜ創立130周年記念事業を企画するのか」 ②ヘルマン・リッテル余聞 ③新薬紹介

5. 会員向けホームページ、メールマガジンの充実

会員ページにおいて会議報告、会員への通知、会員向けツール、学校薬剤師業務関係ファイル等を公開するなど会員の利便に資する活動を行なった。

メールマガジンについては、研修会案内、調剤報酬改定情報など30年度は39件の情報を配信した。

IV 収益事業

1. 会議室等賃貸業

平成30年度も、現在契約しているヴェオリア・ジェネッツ株式会社及び横浜市薬剤師会等9団体をはじめ、平成26年度後期に契約した株式会社矢野建築設計事務所（3階305号室）についても引き続き賃貸した。

また、平成30年度の会議室利用状況は、合計1,128件（前年度比84.3%）であり、外部利用では研修会会場として多目的ホールが多数利用された。＜P. 62参照＞

2. 書籍等販売業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙類の販売を行った。

- ・薬事関係図書の斡旋販売：68件（1,094冊）
- ・用紙類の販売：327件（4月～3月）

3. 神奈川県総合薬事保健センターの修繕等

平成13年に開館した神奈川県総合薬事保健センターの施設維持のため次の修繕等を行った。

- ・冷温水発生機2号機バーナー及び電装機器交換修繕（3月）

神奈川県薬剤師研修協議会事業

1. 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度事業 （神奈川県薬剤師研修協議会）

日本薬剤師研修センターより委託され、研修認定薬剤師制度の認定事務の一部を行なった。

（1）研修認定薬剤師申請業務

平成30年4月～平成31年3月 受付件数：2,029件、申請件数：1,846件

（2）研修認定薬剤師認定証発送業務

平成30年4月～平成31年3月 申請分発送作業件数：1,845件
（新規：1,035件、更新：810件）

（認定薬剤師申請者数一覧）

	申請者数	新 規	更 新
27年度	919	223	696
28年度	2,639	1,881	758
29年度	3,542	2,727	815
30年度	3,550	2,695	855

平成30年4月～平成31年3月会場利用状況

月	部屋	ホール				301号室				302号室				303号室				304号室				306号室				307号室				合計				前年度	
		午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	① 計	可能回数 ※	率 ①／	計	利用率	
		時間																																	
4月	外部	2	2	1	5	1	8	1	10	0	2	0	2	2	3	2	7	2	3	2	7	1	3	3	7	1	4	1	6	44	630	7%	59	9%	
	内部	1	1	3	5	1	0	1	2	3	5	4	12	0	0	1	1	0	0	1	1	2	4	6	12	2	2	5	9	42	630	7%	14	2%	
5月	外部	5	5	1	11	1	5	2	8	0	1	0	1	3	4	3	10	2	4	3	9	1	4	2	7	0	4	1	5	51	651	8%	68	12%	
	内部	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	4	4	0	0	1	1	11	651	2%	14	2%	
6月	外部	8	10	3	21	3	7	0	10	1	1	0	2	5	8	3	16	5	7	3	15	1	1	1	3	1	3	0	4	71	630	11%	85	14%	
	内部	2	2	1	5	0	0	0	0	1	1	4	6	1	1	3	5	1	1	3	5	1	3	4	8	1	1	2	4	33	630	5%	14	2%	
7月	外部	10	11	1	22	0	4	2	6	1	0	1	2	1	4	1	6	1	4	1	6	1	0	2	3	0	1	0	1	46	651	7%	107	17%	
	内部	0	1	1	2	0	0	1	1	0	1	1	2	0	2	3	5	0	1	2	3	0	0	4	4	0	0	2	2	19	651	3%	17	3%	
8月	外部	10	10	1	21	2	2	1	5	0	0	0	0	2	4	2	8	2	4	2	8	0	0	0	0	0	2	0	2	44	651	7%	119	19%	
	内部	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2	0	1	1	2	0	1	1	2	0	1	3	4	0	2	2	4	15	651	2%	24	4%	
9月	外部	7	9	4	20	4	8	0	12	1	0	0	1	1	3	0	4	1	3	0	4	1	0	1	2	2	4	0	6	49	630	8%	122	20%	
	内部	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	3	1	1	1	3	0	2	1	3	1	1	1	3	15	630	2%	20	3%	
10月	外部	20	20	1	41	4	6	3	13	1	2	0	3	5	8	6	19	5	8	6	19	1	1	2	4	1	3	2	6	105	651	16%	88	14%	
	内部	1	1	1	3	0	0	2	2	0	1	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	1	3	4	20	651	3%	14	2%	
11月	外部	5	7	2	14	1	9	0	10	1	2	0	3	3	10	4	17	3	10	4	17	0	2	1	3	0	3	1	4	68	630	11%	90	15%	
	内部	1	2	2	5	0	1	0	1	0	1	3	4	2	3	1	6	2	3	1	6	0	0	5	5	0	0	2	2	29	630	5%	22	4%	
12月	外部	8	8	3	19	1	6	1	8	1	6	1	8	1	4	3	8	1	4	3	8	1	1	2	4	0	2	1	3	58	567	10%	70	13%	
	内部	5	7	6	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5	1	2	2	5	2	8	8	18	2	5	6	13	59	567	10%	21	4%	
1月	外部	15	15	3	33	3	6	1	10	3	6	1	10	2	3	1	6	2	2	1	5	2	3	2	7	2	2	1	5	76	588	13%	121	22%	
	内部	1	1	1	3	2	2	2	6	2	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6	0	1	1	2	23	588	4%	3	1%	
2月	外部	15	17	1	33	1	5	1	7	1	5	1	7	3	4	1	8	3	4	1	8	0	1	3	4	0	0	2	2	69	588	12%	124	24%	
	内部	4	6	5	15	2	1	0	3	2	1	0	3	3	4	1	8	3	4	1	8	4	7	6	17	4	5	6	15	69	588	12%	22	4%	
3月	外部	7	7	1	15	3	8	1	12	2	3	0	5	4	5	2	11	4	5	2	11	2	3	0	5	4	3	1	8	67	651	10%	71	11%	
	内部	7	8	8	23	0	1	1	2	0	1	1	2	2	2	3	7	2	2	3	7	0	1	1	2	0	1	1	2	45	651	7%	29	5%	
合計	外部	112	121	22	255	24	74	13	111	12	28	4	44	32	60	28	120	31	58	28	117	11	19	19	49	11	31	10	52	748	7,518	10%	1,124	16%	
	内部	22	31	28	81	5	5	8	18	8	13	26	47	10	18	16	44	10	17	15	42	9	30	48	87	10	19	32	61	380	7,518	5%	214	3%	

内部は、県薬剤師会の利用です。

※利用可能回数：1日3回(午前・午後・夜間)×7室×その月の日数(年末年始、メンテナンス等を除く)

<災害用備蓄品整備状況>

NO	種 別	内容等 () 内は数量
1	食料品	レトルト食品 白米(410)、五目飯類(740)
2	厨具用品類	カセットガスコンロ (2)、カセットガスボンベ (240)、鍋 (2)、柄杓 (2)、やかん (2)、スチロール食器(200)
3	寝具類	毛布 (110)、折りたたみ式ベッド寝袋 (43)
4	防寒用品類	保湿アルミシート (100)、使い捨てカイロ (300)
5	電灯・ラジオ等	ソーラー懐中電灯 (49)、手回し充電ラジオカセット・ランタン (27)
6	医療用品類	救急キット (43)、サージカルマスク (6,000)、ディスポーザブル手袋 (9,500)、生理用品 (448)、紙パンツ (103)、非常用トイレ (500)
7	機材・工具等	簡易カセットガス発電機 (1)、揚水用手動ポンプ (1)、工具セット (1)、吸水性土壌 (50)
8	飲料水	ミネラルウォーター (500ml) 600 本
9	生活用品類	生理用品 (448)、紙パンツ (103)、非常用トイレ (500)



(30 年度整備 簡易発電機 最大出力 900VA)



(神奈川県総合薬事保健センター 中2階 倉庫保管状況)

平成30年度
公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

わが国の経済は輸出に支えられ回復し拡大を続けて来ているが、平成30年度には神奈川県の総人口が戦中戦後の混乱期を除き初めて減少すると神奈川県では予測されている。

これからは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどを控え明るい材料もあるが、2025年の高齢化社会を目前に、社会保障の経済的かつ質的な充実が求められる重要な課題もあるところである。

そうした課題を踏まえ、公益社団法人である神奈川県薬剤師会は、広く県民の健康増進、医療、介護、公衆衛生に積極的に取組まなければならない。

これらの状況から薬剤師の職能を発揮するために必要な環境を整え事業を展開していくことが希求される。

そこで、本会としては、超高齢社会における在宅医療の推進、多職種連携による地域包括ケアシステムの構築及び対人業務を意識した、かかりつけ薬剤師・薬局への取り組みの形成を図ることとし、昨年度神奈川県栄養士会との協定を締結するなど行ってきたことから、今後とも関係他職種や関連他団体などとの積極的な連携事業展開を図ることとする。

公益社団法人として、5年が経過し神奈川県薬剤師会は、公益性を推進するとともに、中長期的な計画を視野にいれ、医薬品の適正使用、薬剤情報、未病改善のための有益な健康情報の提供などにも努めていくこととし県民を対象とした事業の充実も図ることとする。

また、本会として主事業の充実も大きな課題であることから、先ず、本会独自の「くすりと健康相談薬局」の認定事業においては、今年度初めて更新を迎えることから制度充実強化を図り広く県民に対し「くすりと健康相談薬局」の浸透を図る。また、薬剤師の職能を県民に広く理解していただくために、薬剤師の学術的な貢献を県民に示すことが重要である。生涯学習認定制度では、本会による認定薬剤師の増加を図るために研修の充実を図るなど質の高い認定制度を形成することとする。

本会は県民から信頼を得て計画性や継続性を考慮しながら議論を重ね、薬剤師として最大限の職能を発揮していくために必要な事業の展開を中長期的な計画を考慮しつつ、地域薬剤師会や会員とともに実行し本会の責務を果たしていくこととする。

平成 30 年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

公 1-1
薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業

公 1-2
児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

公 1-3
医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすりと健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

公 1-4
医療安全に関する
事業

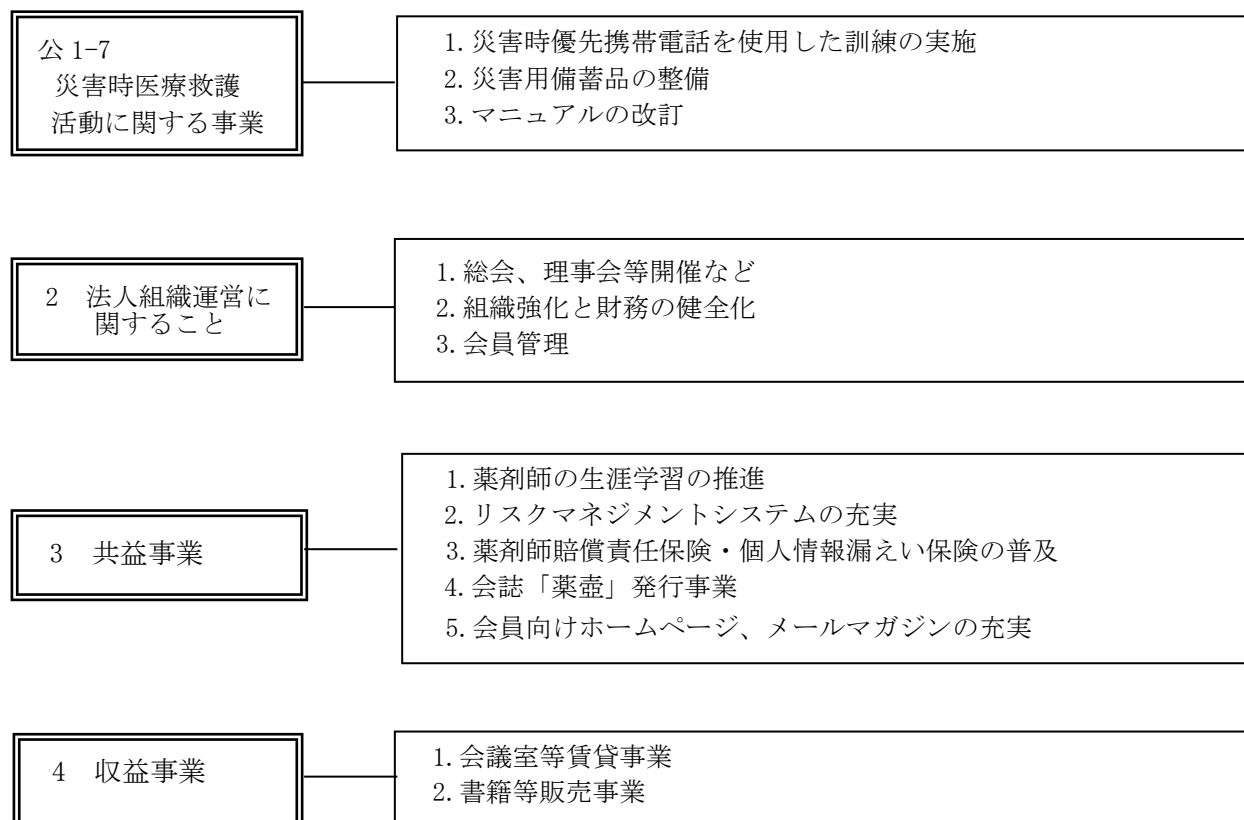
1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 子どもの医薬品誤飲防止啓発事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方せん対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 薬害関連資料収集検討

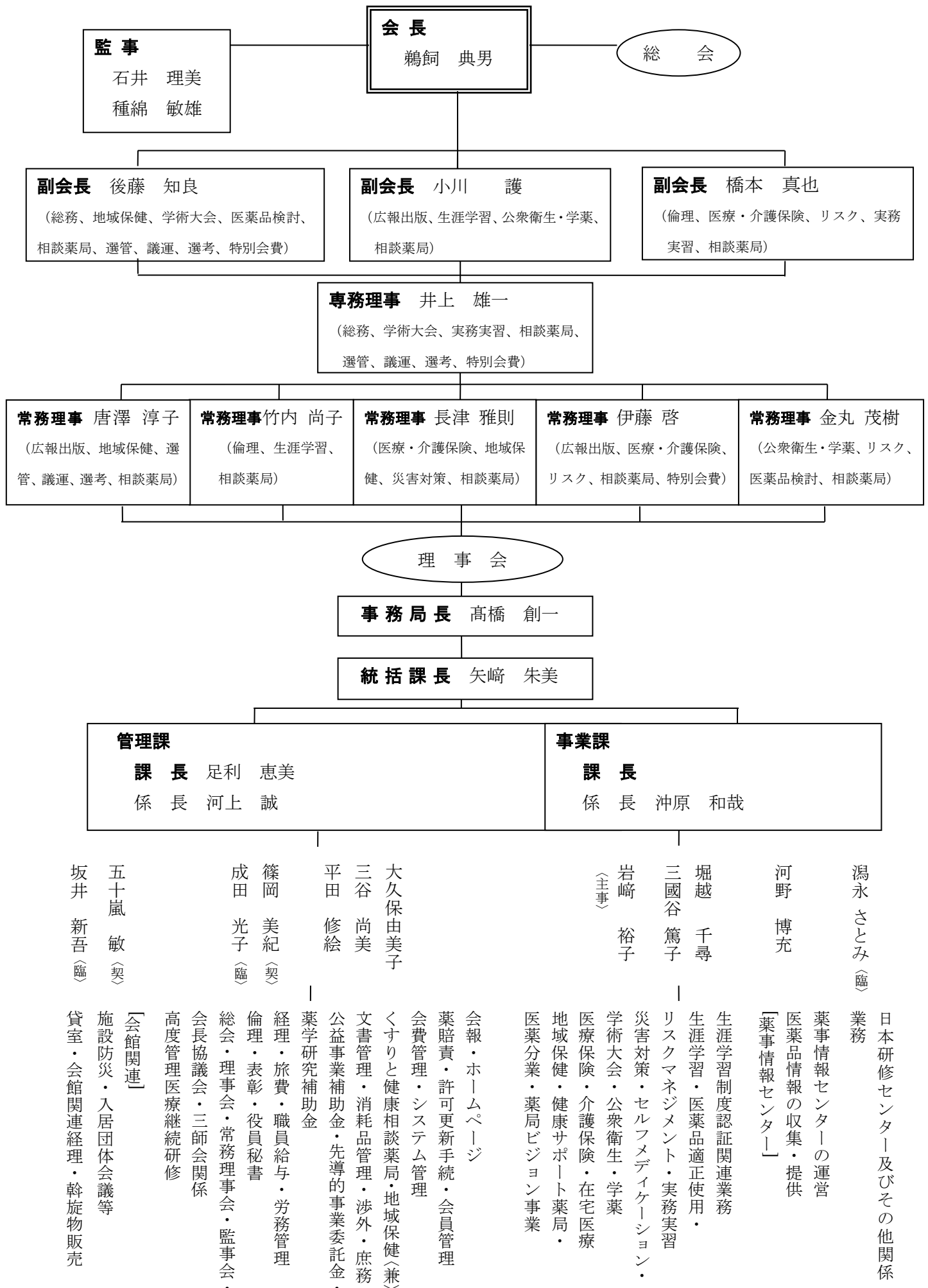
公 1-5
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生に関する研修会の開催
4. かながわ健康財団等事業への参画

公 1-6
地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート薬局関連事業の推進（研修会開催等）





平成30年度 神奈川県薬剤師会 各種委員会委員一覧

平成31年3月31日現在

名 称	担当副会長	担当専務・ 常務理事	担当理事	委 員 (◎委員長 ○副委員長)						担当課
倫 理	橋本 真也	竹内 尚子	金子 弘之 高橋 良二	高橋 洋一 武藤 小橋	大森 正樹 ◎上村 直樹	安藤 典幸 ○今井 澄江	綾部由紀乃 河野 博充			管理課
総 務	後藤 知良	井上 雄一	嶋 元 寺師三千彦	前田 成隆 菅野 宏一	荒澤 実 米山 和久	市川 浩 ◎小宮 賢一	○山田 修 鶴 恒雄			管理課
広報出版	小川 護	唐澤 淳子 伊藤 啓	嶋 元 今井 裕久	星野 高志 高梨 純子 ◎森嶋 まつ子	吉川 武寿 菅沼 賢吾 高橋 洋一	石渡 宏衛 飯田 京子	○関根 澄江 小高 賢一			管理課
生涯学習	小川 護	竹内 尚子	阿部 正隆 菅野 君子	○三澤 喜彦 ◎鈴木 良雄 小泉 直也 金 龍哲	笹谷 康子 柿沼 貞之 三溝 和男	友田 健 杉崎 薫 吉山 友二	馬淵 彰三 黒岩 美枝 山村 重雄			事業課
医療・介護保険	橋本 真也	長津 雅則 伊藤 啓	阿部 正隆 佐藤 克哉 夏目 善文	◎藤本 直樹 ○福嶋 仁稔 荒木 弘忠 小林 忠	西山 宰生 相澤 ゆみ 小林 けい子 瀧本 淳	○川村 幸久 大岡 元正 大島 正	河野 一規 野田和多流 松崎 裕子			事業課
公衆衛生・学薬	小川 護	金丸 茂樹	金子 弘之 牛腸 裕介	濱地 優作 ○紫藤 茂雄 関根 寿樹	○油谷 由美 深井 則雄 大澤 佳奈子	八木 洋子 ◎神原 大輔 久田 真二	和田 野歩 小泉 貴子 渡邊 千括			事業課
地域保健	後藤 知良	唐澤 淳子 長津 雅則	向井 秀人 佐藤 克哉 夏目 善文 久保田 充明	田中 大嗣 澤田 弘之 鈴木 大介	林 直子 鷺山 毅 市川 和子	堀川 壽代 ◎塚本 久美 樋島 学	宇井 敬 ○大島 崇弘 黒澤 淑子			管理課 事業課
リスク マネジメント	橋本 真也	伊藤 啓 金丸 茂樹	坂本 悟 山形 光正	佐伯 達也 竹本 裕治 村上 和宣 荒井 俊明	○石井 泰彦 森井 広樹 小川 亮子 小島 昌徳	◎金 泰烈 臼井 友章 三堀 賢太郎 植村 知子	飯沼 薫 沼田 淳史 太田 美智子 美智子 和夫			事業課
学術大会 実行	後藤 知良	井上 雄一	山形 光正 岩出 信幸	野村 清司 鈴木 康生	高橋 恵巳 寺仙 智子	○遠藤 友香 齋藤 邦夫	◎中村 正樹 清水 一恵			事業課
実務実習	橋本 真也	井上 雄一	坂本 悟 久保田 充明	永持 健 河野 和宏 上田 知弘 難波 昭雄	石川 弓子 石黒 哲夫 駒井 元彦 川上 美好	渡辺 太 大久保 敦子 廣原 正宜 須田 哲史	◎木村久美子 ○片山 周也 栗原 順一			事業課
医薬品適正使用 検討(三師会等)	後藤 知良	金丸 茂樹								事業課
くすりと健康相談 薬局運営協議会	後藤 知良 小川 護 橋本 真也	井上 雄一 全常務理事		○石川 哲也 高橋 洋一	◎福島 紀子	天野 宏	今井 澄江			管理課
災害対策 検討委員会	後藤 知良	長津 雅則	寺師三千彦 阿部 正隆	石井 哲人 石川 弓子 中嶋 慈夫	藤原 文子 ○菅野 宏一 常盤 孝司	◎大木 昭子 橋 津義 田村 英樹	越田 良仁 金林 茂			事業課
代議員 選挙管理	後藤 知良	井上 雄一 唐澤 淳子		吉原 睦子 岡野 克樹 井上 哲男	鈴木 康久 中村 朋子 渡邊 浩一	◎越田 良仁 小林 きぬ子 高柳 栄郎	○森島 一機 石内 正佳			管理課
議事運営	後藤 知良	井上 雄一 唐澤 淳子		◎石渡 宏衛 大岡 元一 渡邊 幸一	井上 恒男 ○泉 紀久恵 矢野 光恭	二宮 三嘉 後藤 君代 金田 光正	八鍬 今井 和成			管理課
総会議長等選考	後藤 知良	井上 雄一 唐澤 淳子		◎石渡 宏衛 大岡 元一 渡邊 幸一	井上 恒男 ○泉 紀久恵 矢野 光恭	二宮 三嘉 後藤 君代 金田 光正	八鍬 今井 和成			管理課
公益法人運営特別 会費検討委員会	後藤 知良	井上 雄一 伊藤 啓		高木 健司 ◎山下 耕司 原 延正	大村 卓 石黒 哲夫 石井 豊	嶋崎 真義 大久保 敦子	山田 修 ○今井 和成			管理課

敬称略

